

令和4年度

# 宮崎県立図書館要覧



宮崎県立図書館  
創立 120 周年



## <目 次>

.....	<b>【第1部】</b>	.....
1	運営方針	2
2	令和4年度の主な取組	4
3	組織	7
4	当初予算	8
5	令和4年度事業計画	9
.....	<b>【第2部】</b>	.....
1	資料概要	12
(1)	配架別・分類別資料数	12
(2)	資料購入の推移	12
(3)	資料整備状況	13
(4)	保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況	13
(5)	デジタルアーカイブの状況	13
2	事業実績	14
(1)	新型コロナウイルス感染症対応の概要	14
(2)	利用事業（総括）	15
①	年度別貸出利用状況の推移	15
②	貸出利用地区別内訳	16
(3)	館内利用事業	17
①	延入室者数及び貸出冊数の推移	17
②	入館者数、登録者数、貸出冊数	18
③	分類別図書貸出冊数	18
④	AVコーナー資料の利用状況の推移	18
⑤	読書振興室月別利用状況（読書団体の利用数）	19
⑥	調査相談（レファレンス）	19
⑦	YA（ヤングアダルト）サービス	19
⑧	みどりの図書コーナー	19
⑨	児童サービス	20
⑩	ビジネス支援サービス	20
⑪	健康情報サービス	21
⑫	パソコン・データベースコーナーの利用状況	21
⑬	複写サービス利用状況の推移	22
⑭	各種相談事業	22
⑮	障がい者等サービス	22
(4)	館外利用事業	23
①	やまびこ文庫	23
②	セット文庫	24
③	子育て支援図書セット貸出	25
④	団体文庫	25
(5)	図書館ネットワーク事業	26
(6)	訪問支援	27

(7) 視聴覚事業	27
① 視聴覚資料等貸出月別利用状況	27
② 視聴覚行事	28
(8) 関係機関と連動した情報発信事業	29
① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業）	29
② 県内公共図書館（室）における巡回展	31
(9) 文化活動事業	32
① 第63回「こどもの読書週間」関連行事	32
② 第75回「秋の読書週間」関連事業	32
③ 特別展等	33
④ 郷土史料等学習活動	34
⑤ 神話の源流みやざき「語り部」活用推進事業	34
(10) 郷土資料調査研究事業	35
① 『宮崎県史料』	35
② 『宮崎県文化講座研究紀要』	35
③ デジタルアーカイブ事業	35
(11) 「緑陰通信」発行事業	36
(12) ホームページ等活用事業	36
(13) 体験学習・施設見学	37
(14) 「かば先生文庫」	37
(15) 講演会等の主催・共催	38
① 図書館フォーラム2021「まちの図書館の可能性を探る」	38
② 「みやざき自然塾コロキウム」	38
③ 「ディスレクシアを理解する講演会」	39
(16) 大学との連携	39
(17) 県立美術館との連携“みて よんで かいて” 瑛九さんのヒミツ	39
(18) 図書館地区別研修（九州・沖縄地区）	39
(19) 宮崎県立図書館感謝状贈呈	40
3 各種協議会等	41
(1) 県立図書館協議会	41
(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会	42
(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会	44
(4) 令和4年度宮崎県立図書館資料推薦委員	46

..... 【参考資料】 .....

1 沿革	48
(1) 県立図書館の歩み	48
(2) 歴代館長名	59
2 県立図書館条例・規則	60
3 施設概況	66
4 利用案内	67
5 市町村立図書館一覧	68

# 【 第 1 部 】



特別展「<sup>いのち</sup>生命を守る～語り継がれる災禍の記憶～」で展示した貴重資料

2021年は東日本大震災及び新燃岳噴火から10年の節目にあたりました。そこで、日本や宮崎県において、過去にどのような災害が起きたのか、また、人々がどのように災害と向き合ってきたのかについて取り上げました。本館所蔵の『佐土原藩嶋津家日記』や、本館寄託の「日向国那珂郡南方村絵図」（嶠南文庫）及び「富士山宝永大噴火絵図」（『庚戌抄書』十三巻（伊東志摩守日記））所収、嶠南文庫）などの貴重資料を特別展示室で紹介しました。

県立図書館では、2階の特別展示室で年間4回ほど特別展や共催展などを開催しています。

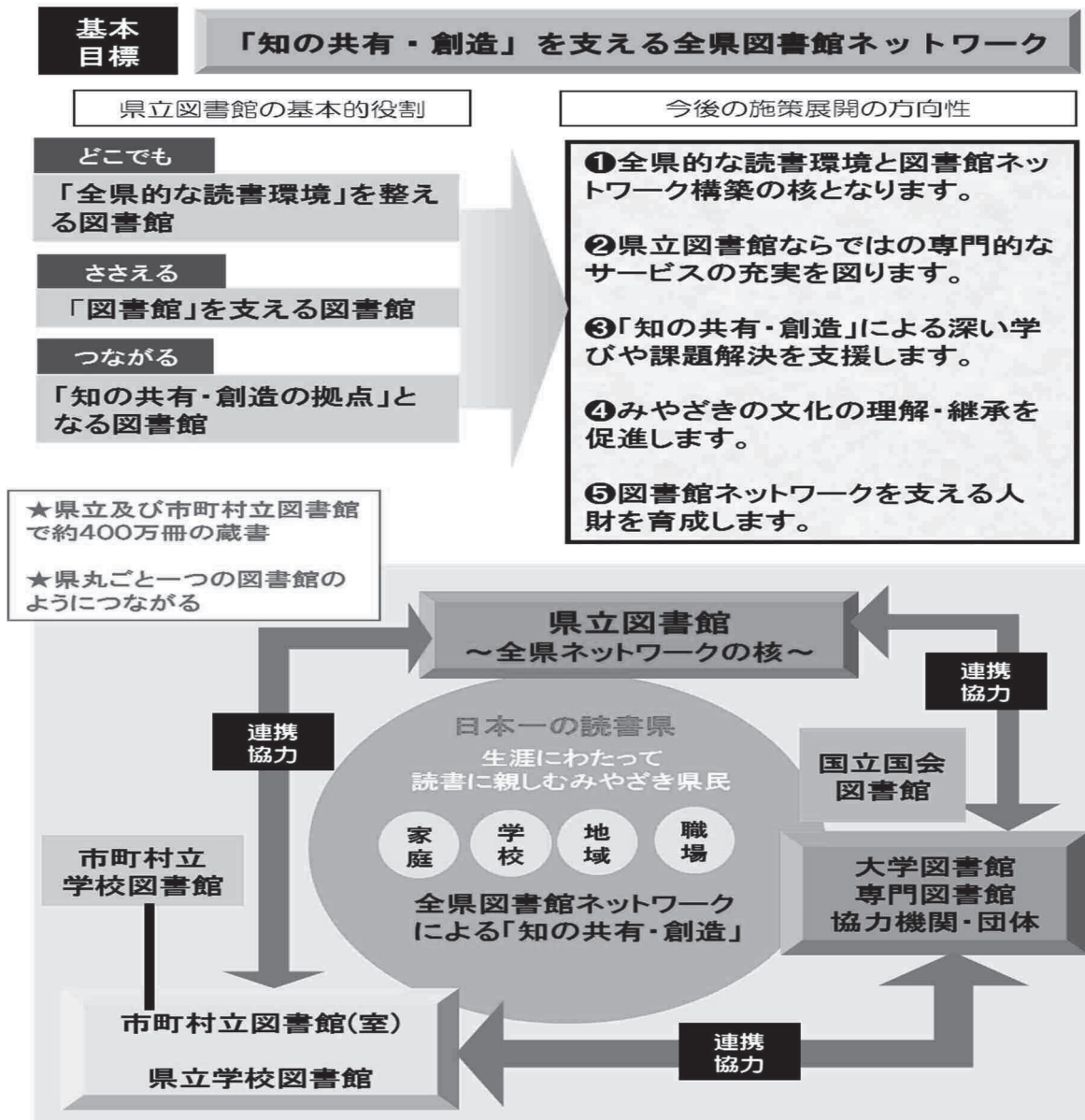
# 令和4年度の運営方針等について

## 1 運営方針

宮崎県立図書館は、県の中核図書館として、今後目指すべき姿や施策展開の方向性等を明確にした平成30年度から向こう10年間の「県立図書館ビジョン」を、平成29年12月に策定しました。

当該ビジョンにおいては、「《知の共有・創造》を支える全県的な図書館ネットワーク」を基本目標に掲げて、県立図書館を核に、市町村立図書館（室）や学校図書館、大学図書館等との連携・協力により、県内の図書館全体の振興を図ることとしています。

### ■ 県立図書館ビジョンの全体像



そして、これを具体化し、着実に実行するため、平成30年度から向こう3年間に優先的に取り組む施策や数値目標等を定めた「第1期アクションプラン」を、平成30年3月に策定し、着実に取り組んできました。

その結果、市町村立図書館（室）等との「顔の見える」関係づくり、県立高等学校とのマイライン接続など、図書館ネットワークの充実につながる成果が出てきています。一方で、世界的に広がった新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、今後の図書館運営の在り方についても多くの課題を投げかけました。

こうした中、令和3年3月に策定した「第2期アクションプラン」のもと、今後とも下記の5つの「施策展開の方向性」に沿って施策を展開してまいります。令和4年度は「重点取組事項」として下記の6つを定めます。

### 県立図書館ビジョン及びアクションプランに定める 施策展開の方向性

- I 全県的な読書環境と図書館ネットワーク構築の核
- II 県立図書館ならではの専門的なサービスの充実
- III 「知の共有・創造」による深い学びや課題解決の支援
- IV みやぎの文化の理解・継承の促進
- V 図書館ネットワークを支える人財の育成

### 《令和4年度重点取組事項》

- 事項1 専門的情報の集積と地域資料の収集・整理
- 事項2 レファレンスサービスの充実
- 事項3 市町村図書館（室）・学校図書館に対する支援
- 事項4 県内公共図書館（室）職員の専門的知識・スキルの向上
- 事項5 感染症リスクやデジタル化に対応した  
図書館サービスの提供
- 事項6 情報資源や各種サービスなど図書館情報の効果的な発信

## 2 令和4年度の主な取組

### (1) 全県的な読書環境と図書館ネットワーク構築の核

#### ① 市町村立図書館（室）訪問支援

#### 重点取組事項3

重点  
取組

市町村立図書館（室）等への定期訪問により運営上の課題を共有し、必要に応じた助言等を行うとともに、市町村立図書館（室）の要請に応じて館内職員で「市町村支援チーム」を編成し、読書振興、資料収集・保存、施設運営等についての支援を行う。

#### ② 学校図書館の活用推進

#### 重点取組事項3

重点  
取組

県立学校・市町村等と連携を図り学校図書館の活用を推進するための支援を行う。また、学校図書館を活用した読書活動や児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の推進について、総合的な支援を行う。

#### ③ 県内公立図書館職員を対象とした専門研修

#### 重点取組事項4

重点  
取組

県内公立図書館職員の資質向上を図るために、公立図書館等の職員を対象とする専門的な研修を行う。

#### ④ 図書配送システムの運用と拡充の検討

図書配送システム「マイラインサービス」について制度周知に努めるとともに、未接続の県立高等学校への接続を拡充し、サービスの利用促進を図る。

#### ⑤ 図書館ネットワークの充実

市町村立図書館（室）、学校図書館及び大学図書館等の職員との情報共有・意見交換を積極的に行い、「顔の見える関係」づくりをさらに進める。

#### ⑥ 図書館ネットワークの核としての読書環境の整備

収蔵能力の把握調査結果をもとに、配架場所の見直しや資料の整理を行いながら、引き続き収蔵対策を行う。また、老朽化対策に加え、感染症リスクや災害等に対応した、県民がいつでも安心して利用できる読書環境の整備に努める。

### (2) 県立図書館ならではの専門的なサービスの充実

#### ① 専門的資料の収集・整理・保存・提供

#### 重点取組事項1

重点  
取組

市町村立図書館（室）との役割分担を踏まえつつ、専門書・参考図書等を中心に資料・各種データベース等の計画的な収集・整理・保存・提供に努める。

#### ② レファレンスサービスの提供と充実

#### 重点取組事項2

重点  
取組

県立図書館の有する専門書や地域資料、データベースを活用したレファレンスサービスを適切に提供するとともに、その充実を図るため、専門機関との連携や、担当職員の能力向上に努める。

行政や企業等に対しても本県の知的インフラとしての活用をさらに促す。



重点  
取組

③ 新型コロナとの共生やデジタル化等に対応

重点取組事項5

非来館型サービス等社会状況の変化に的確に対応するための図書館の運営方法制度の見直し、サービスの動向等に関する情報収集を行うとともに、電子図書館サービスのあり方についての検討を行う。

④ 施策や動向に対応した資料の充実

県の課題や重点施策に関する情報の収集に努めるとともに、それらに対応した資料を充実させる。

⑤ 生涯読書活動の推進に資するサービスの実施

県立図書館ならではの児童サービス、ヤングアダルトサービス、高齢者サービス、障がい者サービスを行う。また、時事に応じたテーマ展示やモデル的な新しい読書スタイルの市町村への普及を図る。

⑥ 読書活動推進団体への支援

関係機関・団体等と連携しながら読書に係る知識・技術の向上に向けた情報提供など、読書活動推進団体に対する支援を行う。

⑦ ビジネス支援サービスや医療・健康情報サービスの実施

図書館の持つ資源（司書、資料・データベース、施設）を生かし、関係団体等と連携しながら、ビジネス支援サービスや医療・健康情報サービスを提供する。

(3) 「知の共有・創造」による深い学びや課題解決の支援

重点  
取組

① 図書館活動等の情報発信

重点取組事項6

当館の持つ情報資源や市町村支援等の事業について、県民への周知を図るため、ホームページ、広報誌のほかマスメディアやSNSを効果的に活用するなど、戦略的な情報発信に努める。

② 「知の共有・創造」の場の提供

市町村等に対し、県立図書館の資料やWi-Fi環境を活用した調査研究、議論等の場の提案を行うとともに、これまでウィキペディアタウンなど当館が得た「知の共有・創造」の場づくりのノウハウを、その求めに応じ提供する。また、モデル的取組として場づくりのための当館施設の弾力的運用を図る。

③ 県民への様々な学習機会の提供

関係機関と連携した県政の重点施策等に関するギャラリー展示や巡回展、自主企画展、各種相談事業、児童・生徒の調べ学習の来館受入れ等、多様な学習機会の提供に努める。

④ 市町村立図書館（室）へのレファレンス等の支援

市町村立図書館（室）が行うレファレンスや市町村職員の資質向上を支援する。

#### (4) みやぎの文化の理解・継承の促進

##### ① 地域資料の収集・整理・保存・活用

##### 重点取組事項2

重点  
取組

県内の各自治体や教育機関、市町村立図書館（室）との情報共有及び連携を図るとともに、県と市町村の役割分担を検討・整理しつつ、地域資料の収集計画をもとに、効率的・効果的な収集・整理・保存・活用に努める。

また、地域資料の発掘・調査や歴史的事象の紹介・顕彰に重要な役割を果たしている、県内各地の史談会等の活動を活性化するため、その支援に努める。

##### ② 杉田文庫の未整理資料の整理

##### 重点取組事項2

重点  
取組

杉田文庫のうち詳細について未整理の書状資料について、分類して正確な法量や内容把握を行う。また、故・山口保明氏（元宮崎看護大学教授）が所蔵していた杉田文庫関連資料の目録作成とその内容確認を行う。

##### ③ 本県文化の魅力に関わる情報発信

若山牧水の関連資料が多く収集されている小林邦雄コレクションの展示や、県内の各種研究・学術団体等と連携した文化講座などを通じて本県の地域文化の魅力を紹介する。また、デジタル化した貴重書庫内の資料画像やその内容をホームページ内のデジタルアーカイブやSNSなどを通じて館外へ発信・紹介していく。

##### ④ 地域資料を活用した情報の発信

地域資料を活用した特別展や講座などを通じて、歴史・文化、自然や産業など幅広い地域情報の発信を行う。

#### (5) 図書館ネットワークを支える人財の育成

##### ① 職員の専門的知識・スキルの向上

重点  
取組

専門研修を実施するとともに、外部で行われる各分野の専門研修に計画的に職員を派遣し、得られた専門知識を県立図書館及び市町村図書館（室）にフィードバックする。

##### ③ 図書館の運営等の評価・改善

県立図書館協議会やアンケート等を通して図書館の運営について広く外部の意見を聞き、課題認識の共有化を図り、必要な改善に取り組む。

### 3 組織

#### (1) 職員の現員調

単位 (人)

区分	館長	副館長	専門主幹	課長	主幹	副主幹	主査	専門主事	主任主事	主事	社会教育主事
現員26	1	1	1	2	6	1	5	2	3	2	2

#### (2) 組織及び分掌事務

<p>名誉館長 伊藤 一彦</p>	<p>総務・企画課 寺原 尚徳</p>	<p>総務担当 原田 佳奈子 高橋 賢二 中馬 一房 資料受入業務等事務員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算編成・執行・決算、物品調達・検査、歳入</li> <li>・ 庁舎管理(施設・設備管理、環境整備、施設利用等)、防火・防災、公用車管理、備品管理、書庫増設計画</li> <li>・ 給与及び旅費、報酬、報償、会計年度任用職員の任用・勤務・休暇整理</li> <li>・ 文書管理</li> <li>・ 連絡調整(館内、環境情報センター、全国公共図書館協議会、日本図書館協会、九州図書館長会等)</li> <li>・ 館内行事予定(週間行事、日々行事等)</li> </ul>
		<p>企画担当 清家 智子 米倉 晴香 渡邊 勇星 連携調整業務専門員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策・事業の総合的調整、図書館評価、図書館協議会</li> <li>・ 図書館広報、県政の重点施策情報発信事業(ギャラリー展及び関連イベント)</li> <li>・ 図書館情報システム、ホームページ及びフェイスブック等の運営管理</li> <li>・ 「知の共有・創造」の場づくりの企画・運営</li> <li>・ 職員研修、図書館実習・職場体験学習等</li> <li>・ 各種相談事業等の共催、調査統計</li> </ul>
		<p>資料管理担当 佐藤 秀貴 富士本 伸二 若松 里奈 早水 貴成 奉仕相談員 2名 資料受入業務等事務員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料の総合管理(収集・保存・活用・除籍・製本)</li> <li>・ 資料の収集方針、管理計画</li> <li>・ 購入資料・逐次刊行物・寄贈資料の選定・受入</li> <li>・ 資料費・装備用消耗品の管理</li> <li>・ 資料推薦委員、特別整理期間</li> <li>・ 資料費の予算執行</li> </ul>
<p>館長 小川 雅彦</p> <p>副館長 日高 聖子</p> <p>専門主幹 福満 千秋</p>	<p>情報提供課 吉永 登志孝</p>	<p>普及支援担当 赤澤 孝行 木村 和哉 長田 有未 奉仕相談員 2名 資料受入業務等事務員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村立図書館(室)及び学校図書館等連携・支援</li> <li>・ 県公共図書館連絡協議会、公共図書館等調査統計</li> <li>・ やまびこ文庫、BM書庫管理・活用</li> <li>・ マイライン運営・普及</li> <li>・ セット文庫の運営・管理</li> <li>・ 子育て支援図書セットの運営・管理</li> <li>・ 視聴覚事業、AVコーナーの保守管理</li> <li>・ 読書団体振興、施設利用(読書振興室)</li> </ul>
		<p>郷土情報担当 中竹 俊博 小山 博 郷土資料研究員 1名 郷土資料調査員 1名 奉仕相談員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域資料の収集・保存・整理・活用</li> <li>・ 貴重資料の収集・保存・整理・活用、デジタルアーカイブ</li> <li>・ 県地方史講座(文化講座・古文書講座)</li> <li>・ 展示会(特別展・企画展・巡回展)</li> <li>・ 地域情報の調査相談</li> <li>・ 宮崎県地方史研究連絡協議会事務局</li> </ul>
		<p>情報提供担当 重山 郁子 才名園 栄津子 橋本 玲子 上米良 綾子 福岡 茂樹 渡野 唯 奉仕相談員 12名 カウンター事務員 6名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童図書室・閲覧室・書庫の運営管理</li> <li>・ レファレンスサービス、相互貸借</li> <li>・ 健康情報、学校支援、子育て支援、子どもの読書推進</li> <li>・ ビジネス支援、市町村・庁内レファレンス</li> <li>・ ヤングアダルトサービス</li> <li>・ 複写サービス、情報活用講座、見学等利用者支援</li> <li>・ 資料の返却督促、弁償、リクエスト、予約</li> <li>・ 利用データの統計・管理</li> <li>・ 高齢者・障がい者サービス</li> </ul>

## 4 当初予算

(歳入)

科 目		説 明
財産収入	1,856 千円	
財産運用収入	1,856	
財産貸付収入	1,856	
公募型財産貸付料	1,856	県立図書館自動販売機設置貸付料
繰入金	1,254 千円	
基金繰入金	1,254	
産業廃棄物税基金繰入金	1,254	
産業廃棄物税基金	1,254	リサイクル活動資料整備
諸収入	829 千円	
雑収入	829	
雑入	829	
雑入	829	電子複写 555,000 円 電気・水道使用料 274,000 円

(歳出)

事業名	予算額 千円	事項名	千円	説 明
図書館費	72,870	1 管理運営費	72,642	庁舎の維持管理に要する経費
		2 図書館協議会	228	図書館協議会の運営に要する経費 (委員10人・年2回)
図書館 サービス 推進費	139,978	1 館内奉仕・巡回文庫用資料整備	40,993	図書、新聞、雑誌、視聴覚資料等の購入に要する経費
		2 郷土新聞保存整備事業	1,310	郷土新聞の保存に要する経費
		3 館内奉仕活動費	93,424	資料の提供、会計年度任用職員人件費等、調査相談業務及びコンピュータ運用に要する経費
		4 文化活動推進費	379	文化講座(年3回)、古文書講座(年4回)開催に要する経費
		5 読書普及推進費	503	団体文庫の育成、公用車の維持管理、読書普及活動の推進に要する経費
		6 AV活動推進費	55	AV機器の管理、緑陰コンサート等に要する経費
		7 図書館ネットワーク推進事業	857	図書配送費、市町村図書館支援のための派遣旅費、レファレンス研修に要する経費
		8 インターネット通信事業	172	インターネット通信に要する経費
		9 みどりの図書館づくり推進事業	1,446	自然や環境に関し、特色ある図書館づくり推進に要する経費(オンラインデータベース等)
		10 図書館情報システムセキュリティ強化対策事業	839	外部からの不正侵入等に対する情報セキュリティ対策及び館内の危機管理対策に要する経費
郷土資料 調査研究 事業推進費	8,291	1 史料刊行費	4,234	史料・研究紀要の刊行に要する経費
		2 郷土資料調査・研究員報酬等	4,057	郷土資料の調査・研究に係る会計年度任用職員人件費等
合 計	221,139			

## 5 令和4年度事業計画

☆は宮崎県立図書館創立120周年記念

### 読む……………貸出サービス等

#### ●個人貸出

1人10冊まで 児童図書室は5冊まで	14日以内
-----------------------	-------

障がい者の方への「無料宅配サービス」、一般の方への「有料宅配サービス」も行っていきます

#### ●図書館ネットワーク

<b>宮崎県内図書館横断検索システム</b> インターネットで、読みたい本を県内のシステム参加図書館の蔵書から検索できます
<b>マイラインシステム</b> インターネットで県立図書館の蔵書を検索し、居住している市町村立図書館（室）を通じて借りることができます
<b>相互貸借システム</b> 国立国会図書館の総合目録システム等から借りることができます

#### ●団体貸出

<b>やまびこ文庫</b> 市町村の図書館（室）やへき地の学校、特別支援学校等を対象とした書庫の資料貸出・配本
<b>団体文庫</b> 読み聞かせボランティア団体等を対象にした貸出

### 見る・聴く……………映学会・コンサート・おはなし会等

#### ●視聴覚事業

<b>図書館シアター</b> 名作や人の生き方を考える映画を鑑賞する上映会	7/6（水）・9/28（水） 12/3（土）・3/8（水）
<b>子ども映学会</b> 子ども達の夢を育て、情操教育を支援する映学会	5/8（日）
<b>緑陰コンサート</b> 生演奏やレコード音楽を楽しむコンサート	6/19（日） 10/23（日）
<b>メモリアル宮崎～郷土を知ろう～</b> 16ミリフィルムに記録されている昭和の宮崎県の出来事等を鑑賞する上映会	11/6（日）☆ 1/18（水）
<b>「図書館の日」特別上映会☆</b> 「図書館の日」に合わせ、映画「ニューヨーク公共図書館エクス・リブリス」を上映	4/30（土）
<b>創立120周年記念上映会☆</b> 創立120周年を記念した、当館ともゆかりのある塩月桃甫の映画を上映	7/3（日）

#### ●読書活動関連事業

<b>おはなし会</b> 子どもたちを対象とした絵本等の読み聞かせ	火曜日（14：00～14：20） 水曜日（15：00～15：20） 土曜日（15：00～16：00） ただし、祝日は開催しません。
--------------------------------------	--

※「子育て相談おはなし会」

（計7回、いずれも14：00～16：00）

6/28（火）・7/26（火）・8/23（火）・9/27（火）・10/25（火）

1/24（火）・2/28（火）

### 学ぶ……………講座・特別展示等

#### ●宮崎県文化講座（いずれも13：30～15：30）

1	「宮崎 酒と魚の文化地理学」 （宮崎大学 中村 周作 氏）	7/16（土）
2	「好きな場所で、好きなことをして生きていく」 （株式会社 ソルクリエーターズ 坂口 潤成 氏）	8/20（土）
3	「短歌県みやざき」 （宮崎大学 中村 佳文 氏）	9/10（土）

※内容については、変更することがあります

#### ●古文書講座

本館所蔵の県内関係の古文書を教材にして古文書の読み方を学びます	6/4（土）・7/2（土） 10/1（土）・11/5（土）
---------------------------------	----------------------------------

#### ●特別展

1	特別展「若山牧水」	9/17（土）～10/16（日）
2	特別展「中近世の日向国」	11/1（火）～12/4（日）
3	特別展「宮崎の漁業」	1/14（土）～3/12（日）

### 相談する……………レファレンスサービス・相談会等

#### ●レファレンスサービス

質問や相談を受けて、図書館職員が参考となる本の紹介や情報提供を行うサービス （閲覧室4番カウンター及び電話・FAX・メール等で受付）
---

#### ●各種無料相談会

<b>健康相談会（まちの保健室）</b> 宮崎県看護協会による心身の健康に関する無料相談会	毎週土曜日 （第5以外）
<b>法律相談会</b> 宮崎県司法書士会による法律に関する無料相談会	毎月第2金曜日 ※8月は実施なし
<b>不動産相談会</b> 宮崎県不動産相談会による不動産に関する相談会	4月・10月 実施予定

### 楽しむ……………その他イベント

#### ●図書館イベント

<b>こどもの読書週間関連事業☆</b> 絵本や児童書の展示のほか、おはなし会や記念イベントを行います	4/19（火）～5/8（日）
<b>秋の読書週間関連事業☆</b> 秋の読書週間に関連する企画展示などを行います	10/18（火）～11/6（日）

●ギャラリー展(令和4年度計画)

1	4/6 (水) ~ 4/17 (日)	○みやざき食品ロス削減パネル展 ○家畜伝染病「特別防疫月間」企画展～忘れない そして さらに前へ～
2	4/19 (火) ~ 5/8 (日)	○こどもの読書週間企画展「SDGs～今わたしたちにできること～」☆
3	5/11 (水) ~ 5/29 (日)	○県民との協働パネル展 ○消費生活問題啓発パネル展～こんなのアリ！？と思ったら・・・ あきらめないでまず相談！～
4	6/1 (水) ~ 6/12 (日)	○令和4年度「土砂災害防止月間」パネル展～備えよう！助かる命守るため～ ○みどりの特別企画展～6月は環境月間です！～
5	6/15 (水) ~ 6/26 (日)	○思春期こころの健康 ○男女共同参画パネル展
6	6/28 (火) ~ 7/18 (月・祝)	○「陸・海・空」交通企画展～みやざきの鉄道・バス・フェリー・飛行機が大集合！～☆
7	7/21 (木) ~ 7/31 (日)	○もっとよく知りたい再生可能エネルギーのこと～水からうまれる電気のおはなし～ ○祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク及び霧島ジオパークの魅力について
8	8/3 (水) ~ 8/14 (日)	○農畜水産業の技術最前線～最新の研究をわかりやすくご紹介～
9	8/17 (水) ~ 8/28 (日)	○土呂久公害の教訓を次世代に引き継ぐための環境教育パネル展 ○森林・林業にふれてみませんか！～宮崎県林業技術センターはこんなところ～
10	8/31 (水) ~ 9/11 (日)	○「記紀・万葉でたどる奈良」・「神話の源流 みやざき」合同パネル展 ○世界に旅立った宮崎県人たちの歩み～ひなたに集うふるさとへの想い～
11	9/13 (火) ~ 9/18 (日)	○NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」全国巡回展
12	9/21 (水) ~ 10/10 (月・祝)	○宮崎大学ビジネスプランコンテスト関連企画展
13	10/18 (火) ~ 11/6 (日)	○秋の読書週間企画展 ☆
14	11/9 (水) ~ 11/20 (日)	○女性に対する暴力をなくす運動パネル展 ○里親制度普及促進・児童虐待防止推進キャンペーン
15	11/23 (水・祝) ~ 12/4 (日)	○地球温暖化防止ギャラリー展～未来の地球のために、今できることを考えよう～ ○シニアパワー宮崎づくり企画展～創ろう シニアパワーで 新しいみやざき～
16	12/7 (水) ~ 12/25 (日)	○人権啓発パネル展～思いやりの心で 豊かな人間関係を～ ○犯罪被害者支援に関する企画展～被害者支援について考えよう～
17	1/6 (金) ~ 1/15 (日)	○宮崎の古墳文化パネル展 ～世界文化遺産登録をめざして～ ○中山間地域をみんなで支える県民運動～中山間地域の魅力を知ろう・使おう・広げよう～
18	1/18 (水) ~ 1/29 (日)	○宮崎中小企業大賞～令和4年度の表彰企業の紹介～ ○インフラストック効果パネル展
19	2/15 (水) ~ 2/26 (日)	○サイバー犯罪被害防止パネル展 ○統計グラフコンクール作品展～グラフで見ると新たな発見！～
20	3/1 (水) ~ 3/12 (日)	○みやざきの「ひと」～みやざきの「昔」から「今」へ～ ○令和4年度「税に関する絵はがきコンクール」作品展示
21	3/15 (水) ~ 3/26 (日)	○ふるさとの水辺発表会 ○NOSAI「宮崎の農村」写真コンテスト～なつかしの風景 今もなお～

## 【 第 2 部 】



### 「みて よんで かいて」 瑛九さんのヒミツ」

県立図書館では、瑛九生誕110周年を記念し、郷土画家瑛九について参加者に紹介文を書いていただく事業を実施しました。

参加者は、美術館や図書館で瑛九の関連展示をそれぞれの担当職員の解説付きで鑑賞した後、図書館の文献等で情報を探し、参加者同士で情報共有しながら、調査、編集作業を行いました。

参加者の方からは「瑛九の活動が多彩で調べるのは面白いが文で表現する難しさを感じた。」「瑛九の父杉田直の日記には、瑛九の育つ様子が記されており、感動を覚えた。」などの感想をいただきました。

## 1 資料概要

図書館資料の整備に当たっては、宮崎県立図書館資料収集方針に基づき、各分野の専門の方々の意見も参考にしながら、県立図書館としての資料充実に努めている。

特に、市町村図書館等との役割を踏まえた収集、学校教育援助のための収集、郷土資料の充実、子どもの読書活動推進のための収集、自然や環境及び本県の産業に関する特色ある図書館づくりのための収集、地域や社会人支援のための収集に重点的に取り組んでいる。

そのような中で、これらの蔵書の中には置県 100 年を記念して寄贈された「杉田文庫」の医書の古刊本や江戸後期の城ヶ崎俳壇の俳諧資料など約 12,000 点も含まれており、また貴重書庫には「佐土原藩嶋津家日記」や「嶺南文庫」などの古文書約 2,000 点も保存している。

### (1) 配架別・分類別資料数（令和 4 年 3 月 31 日現在）

単位（冊）

区分	閲覧室	児童 図書室	書庫	BM書庫	視聴覚 資料	その他	合計	割合(%)
0 総記	8,179	971	40,613	941	384	463	51,551	6.2
1 哲学	4,838	262	19,786	1,029	112	3	26,030	3.2
2 歴史	13,618	1,586	56,056	2,873	929	316	75,378	9.2
3 社会科学	24,413	2,561	147,968	5,625	2,407	448	183,422	22.2
4 自然科学	13,572	3,891	43,743	6,112	1,133	20	68,471	8.3
5 技術	12,482	1,535	40,914	5,245	770	22	60,968	7.4
6 産業	11,351	877	37,601	2,133	550	8	52,520	6.4
7 芸術	10,341	2,762	44,098	5,396	7,676	69	70,342	8.5
8 言語	3,042	581	9,844	1,197	146	44	14,854	1.8
9 文学	26,416	18,403	137,333	38,792	365	54	221,363	26.8
計	128,252	33,429	577,956	69,343	14,472	1,447	824,899	100

### (2) 資料購入の推移

単位（購入数：冊、金額：千円）

区分	H29		H30		R 1		R 2		R 3	
	購入数	金額	購入数	金額	購入数	金額	購入数	金額	購入数	金額
図書	11,363	33,454	11,144	35,860	10,727	36,976	9,501	33,834	9,465	34,779
逐次刊行物	3,449	5,543	3,487	5,422	3,476	5,544	3,460	5,629	3,544	5,792
A V 資料	70	1,323	37	770	44	735	37	888	22	734
計	14,882	40,320	14,668	42,052	14,247	43,255	12,998	40,351	13,031	41,305



## (3) 資料整備状況

## ① 資料受入（令和4年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	令和3年度受入資料数	総資料数
図 書（A）	13,037	749,429
逐次刊行物（B）	5,714	新聞 45種
		雑誌 442種
A V 資料（C）	96	17,968
合 計（A+B+C）	18,847	824,899

## ② 資料受入区分別・分類別資料数（令和4年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	購 入	寄 贈	編 入	所管換	数量更正	生 産	弁 償	寄 託	その他	合 計
0 総 記	1,035	280	1		115	76	3			1,510
1 哲 学	319	40					5			364
2 歴 史	736	347	4		2	9	2			1,100
3 社会科学	2,842	1,866			171	48	6		5	4,938
4 自然科学	1,396	334	1		27		9		10	1,777
5 技 術	1,410	341	11		5		7		2	1,776
6 産 業	839	513	4		106		5			1,467
7 芸 術	1,442	350	4		13		3		12	1,824
8 言 語	203	7								210
9 文 学	2,809	924	3		104		41			3,881
計	13,031	5,002	28		543	133	81		29	18,847

## (4) 保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況（令和4年3月31日現在）

単位（点）

種 別	巻 数	種 別	巻 数
内藤家文書	1,680	その他の古文書	601
佐土原藩嶋津家日記	69	宮崎日日新聞	1,055
佐土原藩嶋津家江戸日記	143	宮崎新報 他	307
島津文書	50		
出北村文書	120		
矢津田家文書	74	合 計	4,099

## (5) デジタルアーカイブの状況（令和4年3月31日現在）

- ・1,110点 約5.5万コマをホームページ上のデジタルアーカイブで公開。
- ・電子化が終了した史料は4,373点、閲覧用デジタルデータで約20万コマ。
- ・電子化が終了したおもな史料は、佐土原藩島津文書、嶮南文庫など。
- ・現在、佐土原藩嶋津家江戸日記と佐土原藩島津家文庫の電子化を進めている。

## 2 事業実績

### (1) 新型コロナウイルス感染症対応の概要

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の第4波、第5波、第6波の影響を受けたが、臨時休館をすることなく、感染防止対策及び一部サービスの制限等を実施しながら開館した。

#### ① 感染防止対策の実施内容

- ・ 常時換気、感染防止ボードの設置、消毒液の設置・常備、手すり等共用部の消毒、閲覧室等の座席数削減、学習室の開放、屋外返却用ポストの常時開放、サーマルカメラ設置等を継続。
- ・ 一部のトイレの洋式化及び手洗器の自動水洗化

#### ② 令和3年度対応記録

##### ア 5/3～5/31

宮崎市及び東諸県圏域が感染急増圏域（赤圏域）に指定された後に、県下全域に「緊急事態宣言」発令

- ・ 閲覧室・児童室・談話室みどりの全座席使用休止、対面レファレンスの休止
- ・ 新聞・A V・パソコンコーナーの利用禁止、検索性パソコンの利用制限
- ・ 学習室開放休止、談話室みどりの使用禁止
- ・ イベントの中止

##### イ 8/6～9/30

宮崎市及び東諸県圏域が感染急増圏域（赤圏域）に指定された後に、県下全域に「緊急事態宣言」発令、さらに「まん延防止等重点措置」地域指定

- ・ 閲覧室・児童室の全座席使用休止、対面レファレンスの休止
- ・ 新聞・A V・パソコンコーナーの利用禁止、検索性パソコンの利用制限
- ・ 学習室開放休止、談話室みどりの座席の一部使用制限
- ・ イベントの中止

##### ウ 1/18～3/31

宮崎市が感染急増圏域（赤圏域）に指定された後に、県下全域が「まん延防止等重点措置」地域指定。（3/7以降まん延防止等重点措置は解除となるが、赤圏域指定は4/1後も継続）

- ・ 閲覧室・児童室の全座席使用休止  
（まん延防止等重点措置解除後は、座席数を減らして開放）
- ・ 新聞・A V・パソコンコーナーの利用禁止  
（新聞・パソコンコーナーは、まん延防止等重点措置解除後は、座席数を減らして開放）  
検索性パソコンの利用制限
- ・ 学習室開放休止  
（まん延防止等重点措置解除後は、座席数を減らして開放）  
談話室みどりの座席の一部使用制限
- ・ イベントの中止  
（まん延防止等重点措置解除後は、一部のものについては感染防止対策を講じた上で実施）

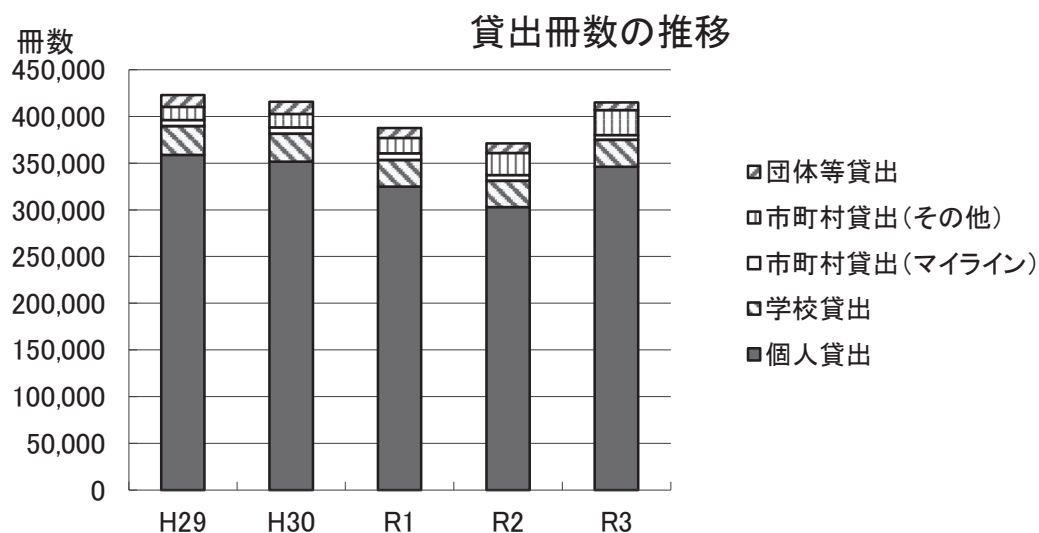
※ 資料の貸出・返却や予約受付、利用券登録、複写サービス、レファレンスサービス（メール、電話、FAX）、マイラインなどの基本的なサービスは継続して実施。

(2) 利用事業（総括）

① 年度別貸出利用状況の推移

区 分		年 度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
開 館 日 数(日)			299	300	278	277	296	
入 館 者 数(人)			476,569	475,346	427,575	307,705	289,561	
( 1 開 館 日 当 たり )			1,594	1,584	1,538	1,111	978	
登 録 者 数(人)			7,052	7,700	7,096	5,509	6,015	
累 計 登 録 者 数(人)			271,376	279,076	286,172	291,681	297,696	
( 1 開 館 日 当 たり )			24	26	26	20	20	
貸 出 冊 数 (冊)	個 人 貸 出		358,695	351,695	324,730	303,006	346,176	
	( 1 開 館 日 当 たり )		1,200	1,172	1,168	1,094	1,170	
	マ イ ラ イ ン		6,351	7,143	7,155	6,112	5,084	
	子 育 て 支 援 図 書 セ ッ ト		891	1,020	1,140	1,110	1,170	
	やまびこ 文庫	町 村 支 援 事 業		11,800	11,550	11,400	9,820	10,950
		学 校 支 援 事 業		30,910	29,550	28,450	27,970	28,710
		大 量 貸 出 支 援 事 業		1,413	1,604	4,157	12,879	14,608
		児 童 教 育 施 設 等 支 援 事 業		5,334	5,037	3,790	4,034	3,577
	セ ッ ト 文 庫		4,363	4,850	3,975	4,369	2,650	
	団 体 貸 出		3,129	3,140	2,758	1,630	2,082	
	視 聴 覚 資 料 団 体 貸 出		41	17	40	29	21	
合 計		422,927	415,606	387,595	370,959	415,028		

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和元年度は令和2年3月5日から3月26日までの19日間、令和2年度は令和2年4月21日から5月10日までの18日間は臨時休館となった。（いずれも通常休館除く。）



② 貸出利用地区別内訳（令和3年度）

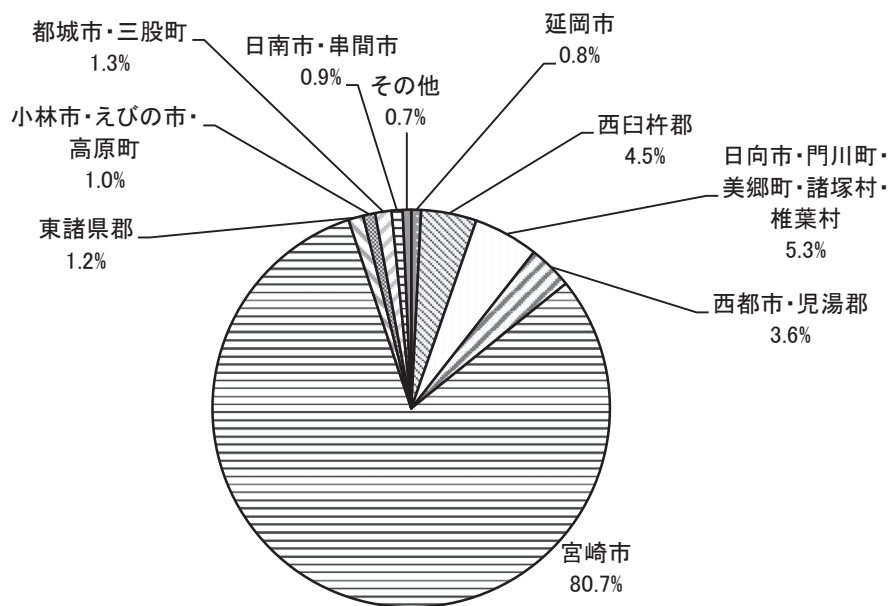
単位（冊）

区 分	本館資料	マイライン	やまびこ文庫	セット文庫	団体等貸出	貸出合計
延 岡 市	934	383	1,965	23	-	3,305
	0.3%	7.5%	3.4%	0.9%	-	0.8%
西 白 杵 郡	93	468	16,742	1,086	270	18,659
	0.1%	9.2%	28.9%	41.0%	8.3%	4.5%
日向市・門川町 ・美郷町・諸塚村 ・椎葉村	562	920	18,928	985	450	21,845
	0.2%	18.1%	32.7%	37.2%	13.8%	5.3%
西都市・児湯郡	7,890	935	5,515	318	360	15,018
	2.3%	18.4%	9.5%	12.0%	11.1%	3.6%
宮 崎 市	324,887	409	7,381	-	2,082	334,759
	93.9%	8.0%	12.8%	-	64.0%	80.7%
東 諸 県 郡	3,917	306	738	-	-	4,961
	1.2%	6.0%	1.3%	-	-	1.2%
小林市・えびの市 ・高原町	1,278	297	2,204	229	90	4,098
	0.4%	5.8%	3.8%	8.6%	2.8%	1.0%
都 城 市 ・ 三 股 町	2,268	643	2,553	-	-	5,464
	0.7%	12.6%	4.4%	-	-	1.3%
日南市・串間市	1,241	723	1,819	9	-	3,792
	0.4%	14.2%	3.1%	0.3%	-	0.9%
そ の 他	3,106	-	-	-	-	3,106
	0.9%	-	-	-	-	0.7%
合 計	346,176	5,084	57,845	2,650	3,252	415,007

※団体等貸出には、子育て支援図書セット貸出を含む。

※視聴覚資料団体貸出は含まない。

貸出合計にみる地区別の比率（令和3年度）



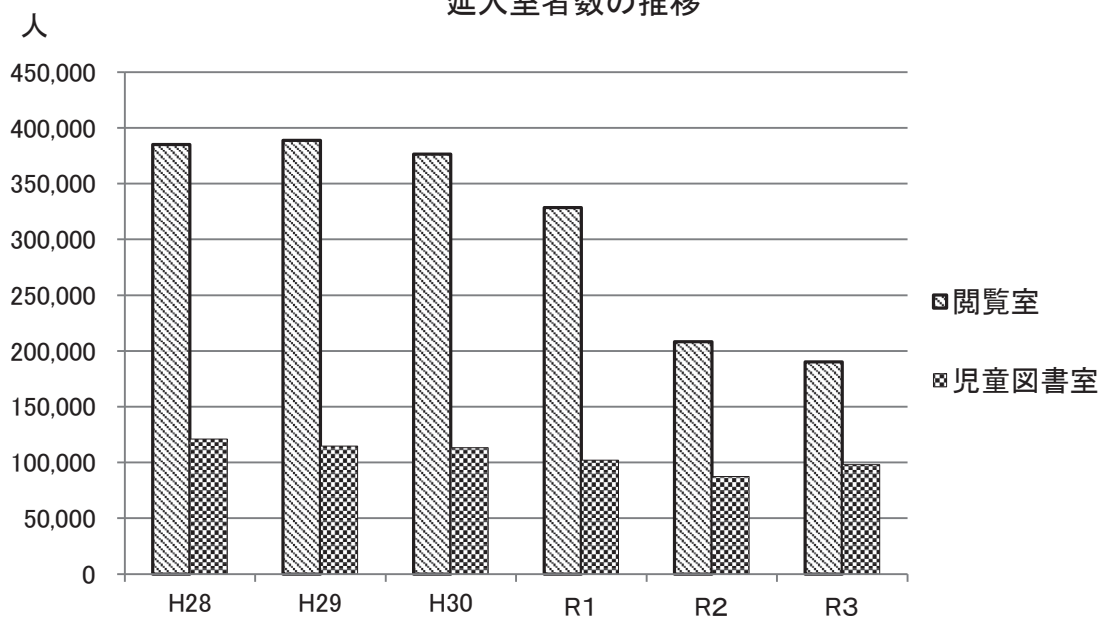
(3) 館内利用事業

① 延入室者数及び貸出冊数の推移

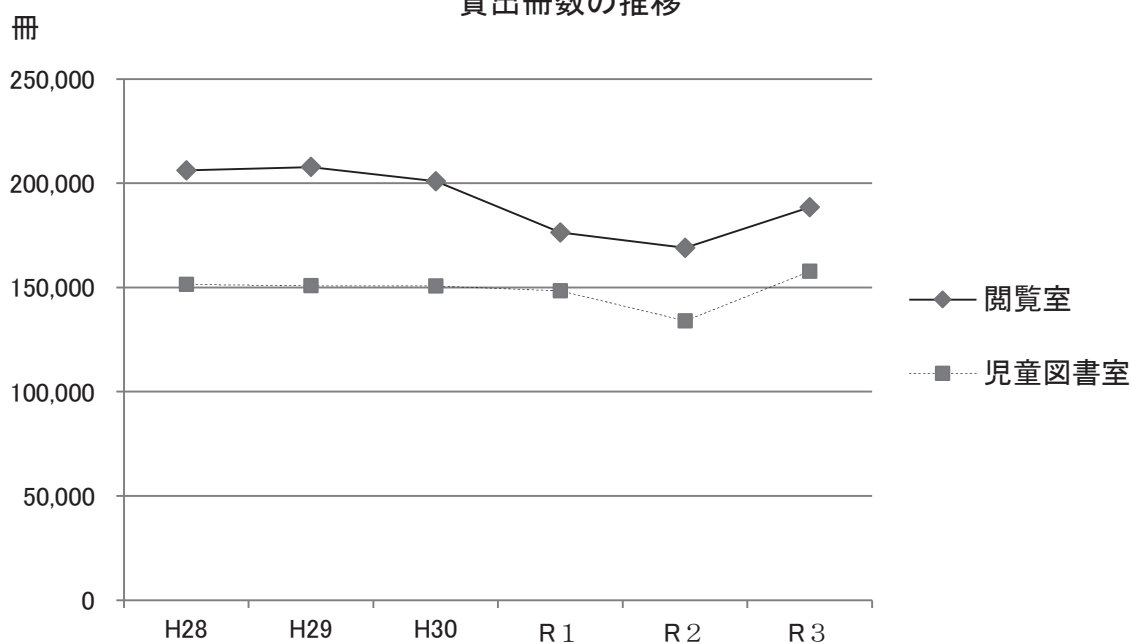
単位 (人・冊)

年度 区分	H28		H29		H30		R1		R2		R3	
	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数
閲覧室	385,152	206,135	388,707	207,815	376,527	200,953	328,555	176,305	208,180	168,980	190,251	188,413
児童図書室	120,995	151,518	114,832	150,880	113,307	150,742	102,180	148,425	87,359	134,026	97,959	157,763
計	506,147	357,653	503,539	358,695	489,834	351,695	430,735	324,730	295,539	303,006	288,210	346,176
1日平均	1,687	1,192	1,684	1,200	1,633	1,172	1,549	1,168	1,067	1,094	974	1,170

延入室者数の推移



貸出冊数の推移



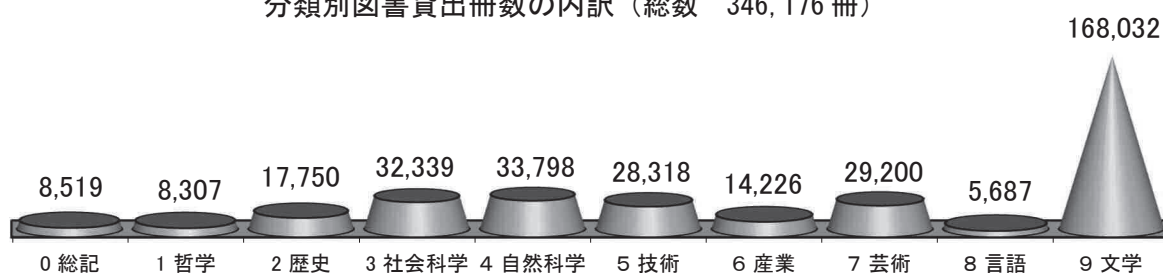
② 入館者数、登録者数、貸出冊数（令和3.4.1～令和4.3.31 開館日数296日） 単位（人・冊）

区分	入館者	登録者	貸出冊数	平均入館者	平均登録者	平均貸出冊数
利用者	0歳～6歳	716	47,223		2.4	160
	7歳～12歳	653	43,919		2.2	148
	13歳～15歳	156	4,037		0.5	14
	16歳～18歳	150	2,137		0.5	7
	19歳～22歳	337	5,773		1.1	20
	23歳～	4,003	243,087		13.5	821
計	289,561	6,015	346,176	978	20.3	1,170
累計 (昭和63年度以降)	18,258,614	297,696	13,073,507			

③ 分類別図書貸出冊数（令和3.4.1～令和4.3.31 開館日数296日） 単位（冊）

分類別	閲覧室	児童図書室	計	一日平均	分類別	閲覧室	児童図書室	計	一日平均
0 総記	6,686	1,833	8,519	29	6 産業	11,030	3,196	14,226	48
1 哲学	7,273	1,034	8,307	28	7 芸術	18,078	11,122	29,200	99
2 歴史	13,609	4,141	17,750	60	8 言語	3,963	1,724	5,687	19
3 社会科学	26,402	5,937	32,339	109	9 文学	59,777	108,255	168,032	568
4 自然科学	19,705	14,093	33,798	114					
5 技術	21,890	6,428	28,318	96	合計	188,413	157,763	346,176	1,170

分類別図書貸出冊数の内訳（総数 346,176冊）



④ AVコーナー資料の利用状況の推移  
〈ビデオソフト〉

単位（本）

区分	年度	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3
利用本数		4,237	4,974	4,809	3,311	1,627	922
1日平均		14	17	16	12	6	5

※ AVコーナーの機器は6台まで使用可能だが、機器の故障や新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年5月より4台の機器で運用している。また、宮崎市が感染急増圏域に指定、県独自の緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の適用等により令和3年5月3日から5月31日まで、8月6日から9月30日まで、令和4年1月18日から3月31日まではAVコーナーを閉鎖した。

⑤ 読書振興室月別利用状況（読書団体の利用数）（令和3年度） 単位（件・人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	2	0	2	2	0	0	3	3	1	0	0	0	13
人数	12	0	12	12	0	0	19	17	6	0	0	0	78

⑥ 調査相談（レファレンス）

利用者からの相談を受け、蔵書資料の紹介や情報の提供により調査・研究を支援するレファレンスサービスを行っている。

また、他館から蔵書を借用して利用に供する相互貸借サービスやコピーサービスなどを行っている。

〈レファレンス件数〉（令和3年度） 単位（件）

区分	対面	電話	FAX	Eメール	文書等	計
件数	2,450	1,864	919	520	7	5,760

〈相互貸借件数〉 単位（冊）

区分 年度	国立国会図書館借受	県内外図書館借受	県外図書館貸出	計
R3	6	615	171	792
R2	4	386	138	528
R1	6	703	169	878

⑦ YA（ヤングアダルト）サービス

心身ともに大きく成長していく時期のヤングアダルト層（12～18歳ぐらい）に対して適切な資料と情報を提供し、読書活動の推進と図書館の利用促進を図るため、平成17年度から青少年コーナーを設置している。平成20年度には書架を増設し、毎年資料の充実を図っている。（図書約5,500冊）

⑧ みどりの図書コーナー

21世紀に宮崎県のめざす「人と自然の共生する地域環境づくり」を支援するとともに、宮崎県立図書館にふさわしい特色ある蔵書構成の向上を図るため、太陽と緑の国みやざきのイメージに合った「みどりに関する資料」を収集している。（展示冊数100冊程度）

## ⑨ 児童サービス

### ア 読み聞かせ

児童図書室では、こどもと本をつなぐため、絵本の読み聞かせや紙芝居、ストーリーテリングを行っている。

- ・図書館職員による読み聞かせ  
毎週火曜日：午後2時～午後2時20分
- ・ボランティア団体による読み聞かせ  
毎週水曜日：午後3時～午後3時20分  
毎週土曜日：午後3時～午後4時

#### 〈読み聞かせ利用者数〉（令和3年度）

単位（人）

曜日	内 訳		計	1回当たり
火曜日 (20回実施)	こども	126	236	11.8
	大人	110		
水曜日 (17回実施)	こども	141	266	15.6
	大人	125		
土曜日 (0回実施)	こども	0	0	0
	大人	0		
計 (37回実施)	こども	267	502	13.6
	大人	235		

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため1階ロビーで時間を短縮して実施した。土曜日は、ストーリーテリングを中心とした内容でありロビーでの実施は困難なため中止。

### イ 子育て支援

児童図書室内に、妊娠、出産、育児、しつけなど子育てに関する図書や雑誌等をまとめた「子育て支援コーナー」を設置し、子育てを支援している。（図書約360冊）

## ⑩ ビジネス支援サービス

図書館に創業やビジネスを支援する機能を持たせるため、閲覧室内にビジネス情報コーナーを設けて、会社年鑑、各種業界年鑑・名鑑等のビジネス関連図書、ビジネス関連雑誌、企業情報誌等を展示している。その他、宮崎県立図書館を会場として、令和3年度は毎週木曜日に、宮崎県産業振興機構派遣のコーディネーターによるビジネスミニセミナーを実施した。

また、経営支援、創業支援等の分野に係る連携の円滑化、地域の活性化と中小企業支援の促進を目的として宮崎県立図書館、宮崎県産業振興機構、宮崎県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）の四者で覚書（平成22年4月1日）を締結している。令和2年度は、宮崎県立図書館を会場として四者によるセミナー等を実施したが、令和3年度は新型コロナ感染拡大のため、実施されなかった。

#### 〈ビジネスミニセミナー実施記録〉

回	期 日	セミナーの内容	受講者数 (人)
1	4月15日（木）	フリーミアム時代のコンテンツ戦略	7
2	4月22日（木）	販売戦略塾シリーズ	9



3	6月17日(木)	事業継承	3
4	7月8日(木)	ZOOM超入門セミナー	3
5	7月15日(木)	海外法務・商標セミナー&相談会	9
6	10月7日(木)	ウェブサイトの入り口	5
7	10月21日(木)	確定申告入門～すぐできる節税	7
8	11月4日(木)	ウェブサイト運用の入り口	2
9	11月11日(木)	副業・フリーランスのためのお金の授業	5
10	11月18日(木)	カフェ経営のリアル	1
合 計			51

### ⑪ 健康情報サービス

心身の健康づくりに役立つ情報の提供を行うため、2階ロビーに健康情報コーナーを設置し、健康に関するパンフレット・チラシの配架を行っている。また、宮崎大学医学部がん相談支援センターと連携し、平成29年10月から、がん対策に関するパネルの展示やがんの冊子の配架を行っている。

毎週土曜日（第5土曜日を除く）には、宮崎県看護協会の保健師等による健康相談会「まちの保健室」を実施している。

さらに、令和元年度から、心身における健康保持・増進を目指して「声に出して言葉を楽しもう会」を実施している。

- ・「まちの保健室」の実績  
相談者数（令和3年度） 延べ277人
- ・「声に出して言葉を楽しもう会」の実績  
令和3年12月17日（金） 参加者4人  
令和4年1月27日（木） 新型コロナウイルス感染拡大のため中止
- ・「令和3年度がんサロン」の実績  
令和4年2月25日（金） 新型コロナウイルス感染拡大のため中止  
講演はオンデマンド配信により実施

### ⑫ パソコン・データベースコーナーの利用状況

調査・研究のためインターネットやオンラインデータベースが利用できるパソコン・データベースコーナーを閲覧室内に設け、インターネット専用パソコン4台、データベース専用パソコン4台、無線LANと有線LAN共用の持込用パソコン席15席の計23席を用意して、利用者に供している。

#### 〈利用者数〉（令和3年度）

- ・インターネット専用パソコン 延べ 1,100人
- ・持込用パソコン席 延べ 2,665人
- ・データベース席 延べ 254人

※平成26年4月から国立国会図書館デジタルデータベース化資料送信サービスを開始。

※令和元年7月から国立国会図書館歴史的音源サービスを開始。

⑬ 複写サービス利用状況の推移

単位（件・枚）

年 度	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3
件 数	5,505	5,658	4,802	4,267	2,880	2,749
枚 数	42,846	39,342	32,597	33,898	22,841	27,815

⑭ 各種相談事業

地域や住民の課題やニーズが多様化し、その解決に当たっては情報提供だけでなく、「人」と「組織」を結びつける積極的な※レフェラルサービスも必要である。その一つとして、各種機関と連携した相談会を実施している。

※レフェラルサービスとは、他の図書館、行政窓口、専門団体、専門家を紹介するサービスのことである。

ア 法律相談

○ 法律相談会（8月を除く毎月第2金曜日）

〈月別相談件数〉

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件 数	2	—	0	1	—	—	0	3	0	0	—	0	6

※5・9・2月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

イ 不動産相談

○ 不動産無料相談会

令和3年10月23日（土）相談者数21名 相談件数20件

ウ ランタンのつどい

○ 自死遺族の思いの分かち合いの会（毎月第2土曜日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加者数	2	—	3	3	—	—	2	4	3	3	—	—	20

※5・8・9・2・3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

⑮ 障がい者等サービス

来館が困難な程度の障がいを有する方等への無料郵送貸出、視覚障がい者等のための音声録音図書の貸出を平成27年3月から実施している。

○ 利用登録者

令和3年度（新規） 2名

令和3年度末計 69名

○ 延べ利用数

令和3年度 1,067点

(4) 館外利用事業

① やまびこ文庫

平成 28 年度から、移動図書館車「やまびこ」（平成 27 年度廃止）に代わる事業として、やまびこ文庫事業を開始した。やまびこ文庫は、BM書庫（市町村配送専用書庫）の資料等を活用することにより、市町村や学校等における読書普及活動及び読書環境整備を支援し、県全体の均衡ある読書環境整備を図ることを目的としている。この事業では、県立図書館から貸出図書を定期配送する支援、BM書庫で貸出を行う支援を実施している。

ア 定期配送による支援

〈町村支援事業〉

令和 3 年度 貸出冊数

単位（冊）

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
高千穂町	高千穂町立図書館	1,500	美 郷 町	美郷町立西郷図書館	1,500
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	1,050		美郷町立北郷図書館	1,500
諸 塚 村	諸塚村中央公民館図書室	1,500		美郷町立南郷図書館	1,200
日之影町	日之影町立図書館	1,500	高 原 町	高原町中央公民館図書室	900
西米良村	西米良村立図書室	300	合 計		10,950

〈学校支援事業〉

令和 3 年度 配本冊数

単位（冊）

市町村名	学 校 名	配本冊数	市町村名	学 校 名	配本冊数
五ヶ瀬町	鞍岡小学校	1,500	椎 葉 村	大河内小学校	840
	三ヶ所小学校	1,500		松尾小学校	1,500
	坂本小学校	1,500		椎葉中学校	900
	上組小学校	1,200	諸 塚 村	諸塚小学校	1,500
	五ヶ瀬中等教育学校	1,200	西 米 良 村	西米良中学校	360
高千穂町	押方小学校	300	宮 崎 市	明星視覚支援学校	300
	田原小学校	900		赤江まつばら支援学校	300
	岩戸小学校	1,500		みなみのかぜ支援学校	540
	上野小中学校	900		清武せいりゅう支援学校	1,200
	延岡しるやま支援学校高千穂校	450		宮崎海洋高等学校	400
日之影町	日之影中学校	750	都 城 市	都城さくら聴覚支援学校	900
美 郷 町	美郷北義務教育学校	900	日 南 市	日南くろしお支援学校	1,500
	美郷南学園	840	日 向 市	日向ひまわり支援学校	900
椎 葉 村	椎葉小学校	630	新 富 町	児湯るびなす支援学校	900
	尾向小学校	1,100	小 林 市	小林こすもす支援学校	600
	不土野小学校	900	合 計		28,710

イ BM書庫での貸出による支援

BM書庫資料の大量貸出により、市町村立図書館・図書室、児童教育施設等を支援した。

〈大量貸出支援事業〉

令和3年度 貸出冊数

単位 (冊)

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
延岡市	延岡市立図書館	507	都農町	都農町民図書館	1,706
	延岡市立図書館北方分館	726	高鍋町	町立高鍋図書館	822
	延岡市立図書館北川分館	259	西都市	西都市立図書館	719
	延岡市立図書館北浦分館	473	綾町	綾てるは図書館	431
高千穂町	高千穂町立図書館	295	宮崎市	宮崎市田野公民館図書室	435
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	379		宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室	706
日之影町	日之影町立図書館	318		宮崎市立佐土原図書館	208
諸塚村	諸塚村中央公民館図書室	311	小林市	小林市立図書館	452
美郷町	美郷町立西郷図書館	747	高原町	高原町中央公民館図書室	252
	美郷町立北郷図書館	776	都城市	都城市高崎たちばな学び館	530
	美郷町立南郷図書館	321		都城市山田総合センター図書室	616
木城町	木城町総合交流センターリパリス図書室	205		都城市山之口地区公民館図書室	85
国富町	国富町立図書館	102	三股町	三股町立図書館	422
日南市	日南市立図書館	319	西米良村	西米良村教育委員会図書室	423
日向市	日向市立図書館	1,063	合 計		14,608

〈児童教育施設等支援事業〉

令和3年度 児童教育施設等一覧 (令和4年4月1日現在)

No.	市町村名	団 体 名	登録種別	登録年月	No.	市町村名	団 体 名	登録種別	登録年月
1	宮崎市	社 会 福 祉 法 人 南 方 保 育 園	教育施設	平12. 4	13	宮崎市	倉 岡 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平29. 6
2	宮崎市	宮 崎 県 中 央 福 祉 こ ども セ ン タ ー	教育施設	平21. 6	14	宮崎市	住 吉 第 二 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平29. 6
3	宮崎市	宮 崎 大 学 教 育 学 部 附 属 幼 稚 園	教育施設	平25. 10	15	宮崎市	生 目 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平29. 12
4	宮崎市	櫛 北 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平24. 4	16	宮崎市	西 池 南 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平30. 6
5	宮崎市	瓜 生 野 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平20. 7	17	西都市	都 於 郡 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平30. 9
6	宮崎市	大 宮 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平22. 9	18	宮崎市	東 大 宮 夢 は う す 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平31. 4
7	宮崎市	小 松 台 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平24. 10	19	宮崎市	住 吉 第 三 児 童 ク ラ ブ	教育施設	令1. 7
8	宮崎市	住 吉 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平25. 7	20	宮崎市	宮 崎 東 児 童 ク ラ ブ	教育施設	令1. 8
9	宮崎市	宮 崎 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平26. 3	21	宮崎市	港 児 童 ク ラ ブ	教育施設	令2. 4
10	宮崎市	西 池 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平12. 6	22	宮崎市	住 吉 児 童 セ ン タ ー	教育施設	令3. 10
11	宮崎市	東 大 宮 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平12. 10	23	宮崎市	ひ む か キ ュ ー ツ 保 育 園	教育施設	令3. 12
12	宮崎市	池 内 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平29. 5					

② セット文庫

平成28年度より、セット文庫事業を改定し、やまびこ文庫登録図書館・室、やまびこ文庫登録学校、町村立学校への貸出を開始した。

〈令和3年度 貸出冊数〉

単位 (冊)

学 校 名	貸出冊数	学 校 名	貸出冊数
高千穂町立高千穂小学校	22	日之影町立宮水小学校	130
高千穂町立岩戸小学校	29	川南町立国光原中学校	2
五ヶ瀬町立鞍岡小学校	35	県立延岡しろやま支援学校	23
都農町立都農南小学校	53	県立日南くろしお支援学校	9
都農町立都農東小学校	43	県立小林こすもす支援学校	10
日之影町立日之影小学校	100	県立日向ひまわり支援学校	60
日之影町立高巣野小学校	100	合 計	616

※やまびこ文庫登録図書館・室への貸出数は2,034冊であった。

### ③ 子育て支援図書セット貸出

専門家による評価や利用者の声などを参考に選書した育児書や幼児用絵本などの子育て支援セットを町村の図書館（室）へ貸し出し、子育て支援センターの読み聞かせ活動などに活用してもらうなど、町村立図書館における子育て支援のための取組を支援するとともに、子育て世代による県立図書館資料の利用を推進した。

#### 〈令和3年度 貸出状況〉

町村名	図書館・図書室名	回数	セット数（貸出冊数）
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	3	3 (90)
高千穂町	高千穂町立図書館	3	3 (90)
高原町	高原町中央公民館図書室	3	3 (90)
川南町	川南町立図書館	3	3 (90)
高鍋町	町立高鍋図書館	3	3 (90)
都農町	都農町民図書館	3	3 (90)
木城町	木城町総合交流センターリパリス図書室	3	3 (90)
美郷町	美郷町立西郷図書館	3	3 (90)
	美郷町立北郷図書館	3	3 (90)
	美郷町立南郷図書館	3	3 (90)
日之影町	日之影町立図書館	3	3 (90)
諸塚村	諸塚村中央公民館図書室	3	3 (90)
椎葉村	椎葉村図書館「ぶん文Bun」	3	3 (90)
	合計	39回	39セット (1,170冊)

### ④ 団体文庫

令和4年度 団体文庫登録団体一覧（令和4年4月1日現在）

No.	市町村	団体名	登録種別	登録年月	No.	市町村	団体名	登録種別	登録年月
1	宮崎市	いずみ一座	読み聞かせボランティア	平25. 8	14	宮崎市	みつばちキッズ柳丸	障害児通所施設	平29. 7
2	宮崎市	大宮小読み聞かせサークルひまわり	読み聞かせボランティア	平23. 4	15	宮崎市	あおぞら幼稚園読み聞かせサークルぶんぶん	読み聞かせボランティア	平29.10
3	高鍋町	おはなしころりん	読み聞かせボランティア	平15. 7	16	宮崎市	こどもプラス宮崎教室	障害児通所施設	平30. 4
4	宮崎市	おはなし つたや	読み聞かせボランティア	平26. 4	17	宮崎市	子ども発達支援の家 つなぐ	障害児通所施設	平30. 5
5	宮崎市	くれよん	読み聞かせボランティア	平19. 6	18	宮崎市	“ひむか”なライブラリアンシップ	研究団体 研修団体	平30. 5
6	宮崎市	サンシャインフレンズ	読み聞かせボランティア	平 4.11	19	宮崎市	牧水研究会	研究団体 【短歌】	平30. 7
7	宮崎市	シルバーケア短歌会「空の会」	研究団体 【短歌】	平26. 1	20	宮崎市	しんがくどう宮崎	障害児通所施設	平31. 4
8	宮崎市	学校支援ボランティア「お話の部屋」	読み聞かせボランティア	平13.10	21	宮崎市	日向神話の伝承・民話の語り“ひむがたり”	読み聞かせボランティア 研修団体	令元. 6
9	宮崎市	(公財)野村生涯教育センター 宮崎支部	研修団体	平10. 8	22	宮崎市	ラボ・ミヤザキ	私設文庫・読み聞かせボランティア・研究団体【絵本】・研修団体	平26. 4
10	宮崎市	びろうじゅ	研究団体 【短歌】	平元.11	23	宮崎市	宮崎県現代川柳協会	研究団体 【川柳】 研修団体	平28. 4
11	宮崎市	MAR I	読み聞かせボランティア	平26.10	24	宮崎市	放課後等デイサービス Happiness Life	障害児通所施設	令 2.12
12	宮崎市	みなみかぜ	読み聞かせボランティア	平12. 4	25	宮崎市	読み聞かせボランティアほっとタイム	読み聞かせボランティア	令 3. 1
13	宮崎市	宮崎レコード音楽愛好会	研究団体 【レコード】	平29. 6	26	宮崎市	放課後等デイサービス Happiness Life みらい店	障害児通所施設	令 3. 6

## (5) 図書館ネットワーク事業

マイラインシステムによる県立図書館資料の市町村等への貸出実績の推移

単位(冊)

	施設名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	宮崎市立佐土原図書館	55	88	47	75	79
2	都城市立図書館	77	215	202	188	240
3	都城市立高城図書館	21	21	13	11	8
4	延岡市立図書館	350	431	330	331	364
5	延岡市立図書館北方分館	45	27	16	16	2
6	延岡市立図書館北浦分館			2	13	9
7	延岡市立図書館北川分館	14	3	8	14	5
8	日南市立図書館	682	799	725	585	500
9	小林市立図書館	182	143	103	189	153
10	日向市立図書館	348	356	436	352	270
11	串間市立図書館	92	90	144	94	177
12	西都市立図書館	158	252	178	122	136
13	えびの市民図書館	43	70	52	81	35
14	三股町立図書館	236	171	170	115	160
15	国富町立図書館	25	44	48	69	178
16	綾てるは図書館	159	142	52	200	128
17	町立高鍋図書館	176	192	158	170	133
18	新富町図書館	86	101	52	85	138
19	川南町立図書館	114	104	113	121	62
20	都農町民図書館	229	257	303	376	299
21	門川町立図書館	87	73	52	22	22
22	美郷町立西郷図書館	248	323	259	428	315
23	美郷町立北郷図書館	153	264	249	213	179
24	美郷町立南郷図書館	109	99	49	93	76
25	高千穂町立図書館	200	224	176	251	183
26	宮崎市田野公民館図書室	46	33	45		18
27	宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室	89	82	24	43	34
28	都城市山之口地区公民館図書室			1		0
29	都城市山田総合センター図書室	94	33	80	87	124
30	都城市高崎たちばな学び館	21	5	13	4	10
31	高原町中央公民館図書室	84	144	185	65	107
32	西米良村立図書室	16	6	22	55	49
33	木城町総合交流センターリパリス図書室	339	224	252	135	108
34	諸塚村中央公民館図書室	11	12	15	2	1
35	椎葉村民図書館	21				0
36	日之影町立図書館		44	2	19	53
37	五ヶ瀬町教育委員会図書室	118	51	73	109	149
	市町村立図書館・図書室 合計	4,728	5,123	4,649	4,733	4,504
38	県立五ヶ瀬中等教育学校	306	183	97	224	78
39	県立日向高等学校	446	424	332	118	41
40	県立富島高等学校	296	570	704	15	16
41	県立宮崎南高等学校	157	310	167	14	2
42	県立佐土原高等学校	310	246	17		0
43	県立宮崎商業高等学校	71	98	131	5	2
44	県立日南振徳高等学校	37		20	39	35
45	県立都城農業高等学校		181	173	60	18
46	県立宮崎北高等学校		1	415	317	111
47	県立高鍋高等学校			434	33	5
48	県立宮崎東高等学校			1	24	16
49	県立妻高等学校					5
50	県立日向工業高等学校				208	0
51	県立宮崎西高等学校				243	135
52	県立福島高等学校				5	11
53	県立都城泉ヶ丘高等学校				60	83
54	県立延岡星雲高等学校					3
55	県立高千穂高等学校					5
56	県立飯野高等学校					2
	県立学校 合計	1,623	2,013	2,491	1,365	568
54	宮崎大学附属図書館本館		7	15	12	12
55	宮崎大学附属図書館医学分館				2	0
	大学 合計	0	7	15	14	12
	合計	6,351	7,143	7,155	6,112	5,084

※日南市立まなびピア図書館・日南市立北郷図書館・南郷図書館は、日南市立図書館(本館)にて一括計上。

※小林市立野尻分館・須木分館は、小林市立図書館(本館)にて一括計上。

## (6) 訪問支援

平成 28 年度から、市町村図書館・室や県立学校等に対し、図書館等の運営に係る支援や助言を行う訪問支援を開始した。訪問支援は、全市町村図書館・室を対象とした定期訪問と市町村図書館・室や県立学校等からの要請に応じて行う要請訪問に区別している。令和 3 年度の定期訪問は、全市町村図書館・室を対象とし、45 回行った。また、要請訪問の依頼は 11 件あったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 1 件が中止となり、10 回訪問を行った。

### 〈令和 3 年度要請訪問状況〉

期 日	訪問施設名	要請内容
4 月 19 日	日之影町立図書館	図書館運営支援（初任者研修）
6 月 17 日	県立日南くろしお支援学校	読書活動支援（読み聞かせ）
6 月 24 日	日之影町立図書館	図書館運営支援（本の修理）
6 月 28 日	高千穂町立図書館	図書館運営支援（本の修理）
7 月 9 日	県立富島高等学校	学校図書館支援（本の収集と除籍）
7 月 26 日	県立延岡しろやま支援学校	学校図書館支援（本の収集と除籍）
11 月 15 日	県立日南くろしお支援学校	読書活動支援（読み聞かせ）
12 月 1 日	町立高鍋図書館	図書館運営支援（ボランティアへの本の修理）
12 月 24 日	日向市立図書館	学校図書館支援（学校図書館司書研修）
1 月 5 日	県立延岡しろやま支援学校	学校図書館支援（本の修理）
1 月 24 日	県立日南くろしお支援学校 （中止）	読書活動支援（読み聞かせ）

## (7) 視聴覚事業

視聴覚資料等の登録団体等への貸出し及びこれらを利用した映写会・講座等を実施した。

### ① 視聴覚資料等貸出月別利用状況 単位（貸出本数：本、利用回数：回、利用者数：人）

月	視聴覚資料			機 器		
	貸出本数	利用回数	利用者数	貸出台数	利用回数	利用者数
4 月	0	0	0	0	0	0
5 月	0	0	0	0	0	0
6 月	0	0	0	0	0	0
7 月	7	5	32	1	1	20
8 月	4	2	42	0	0	0
9 月	0	0	0	0	0	0
10 月	0	0	0	0	0	0
11 月	3	1	926	2	1	20
12 月	3	1	950	2	2	84
1 月	4	8	204	0	0	0
2 月	0	0	0	2	4	62
3 月	0	0	0	9	9	374
合 計	21	17	2, 154	16	17	560

## ② 視聴覚行事

### 〈映写会〉

子どもたちの情操教育や県民の生涯学習に役立てるため、子ども向けと大人向けの映写会を実施した。

#### ア 図書館子ども映写会

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者 (人)
1	5月8日(土) 【中止】	「すっぽんぽんのすけ・スモウマン」(うごくえほん チルビーより) 「おじゃる丸スペシャル銀河がマロを呼んでいる～ふたりのねがい星～」	—
合 計			0

※第1回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

#### イ 図書館シアター

回	当初予定日	実施日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	5月8日(土)	7月2日(金)	「世界にひとつの金メダル」	6
2	8月4日(水)	変更なし	「命のピザ 六千万人のユダヤ人を救った日本領事の決断」	12
3	9月26日(日)	1月16日(日)	「天王寺おばあちゃんゾウ春子最後の夏」	20
4	11月17日(水)	変更なし	「ばあばは、だいじょうぶ」	21
5	3月11日(金)	変更なし	「飯館村の母ちゃんたち 土とともに」	33
合 計				92

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため第1回、第3回は延期して上映した。

### 〈メモリアル宮崎～郷土を知ろう～〉

これまでの宮崎県の歩みを知り、興味をもつきっかけになるよう、本館所蔵の郷土に関する貴重な16ミリフィルムの上映会を実施した。

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	6月18日(金)	「日本のふるさと宮崎国体」	7
合 計			7

### 〈緑陰コンサート〉

様々な演奏団体等を招き、解説などを交えた演奏会を実施した。

回	当初予定日	実施日	内 容	参加者(人)
1	9月12日(日)	12月19日(日)	レコードコンサート 「リクエスト特集 (令和2年度のアンケートより)」	18
2	10月17日(日)	変更なし	みやざきほるんの会によるホルンの生演奏 アナウンサーによる読み聞かせ	148
合 計				166

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため第1回は延期して実施した。



(8) 関係機関と連動した情報発信事業

① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業）

『未来を築く新しい「ゆたかさ」への挑戦』を推進するためには、主役となる県民に県の施策や県民の課題等を分かりやすく周知し、理解を促すことが重要である。本事業は、県及び国等の関係機関と社会教育機関である県立図書館が、互いに有する資産（人・物・施設）を連動させ、企画展やセミナー、相談会などを開催するもので、行政が一体となることでより円滑な事業の推進を図るとともに、個人や地域の課題解決を積極的に支援し、「人づくりと地域づくり」に役立つことを目的として実施した。

<令和3年度実績>

節	期 日	課・機関名	内 容	◎主催 ○共催
1	4月7日(水) 4月18日(日)	循環社会推進課	みやざき食品ロス削減パネル展	
		家畜防疫対策課	家畜伝染病「特別防疫月間」企画展	
2	4月20日(火)～ 5月9日(日)	県立図書館	こどもの読書週間企画展	◎
3	5月12日(水)～ 5月23日(日) 【中止】	生活・協働・男女参画課	消費生活問題啓発パネル展	
		畜産振興課	「6月1日は世界牛乳の日」企画展	
4	5月26日(水)～ 6月6日(日) 【5/26～5/31中止】	障がい福祉課	思春期こころの健康	
		砂防課	「土砂災害防止月間」パネル展	
5	6月9日(水)～ 6月20日(日)	港湾課	「みやざきの港」特別企画展	
		生活・協働・男女参画課	男女共同参画パネル展	
6	6月23日(水)～ 7月11日(日)	国民文化祭・障害者芸術文化祭課	「国文祭・芸文祭みやざき2020」パネル展	
7	7月14日(水)～ 7月25日(日)	農業普及技術課	農畜水産業の技術最前線	
8	7月28日(水)～ 8月9日(月)	企業局総務課	もっとよく知りたい再生可能エネルギーのこと	
		統計調査課	統計グラフコンクール作品展	
9	8月12日(木)～ 8月22日(日)	中山間・地域政策課	祖母・傾・大崩ユネスコエコパークと霧島ジオパークの魅力	
		義務教育課	県立五ヶ瀬中等教育学校展示発表	
10	8月25日(水)～ 9月5日(日)	みやざき文化振興課	「記紀・万葉でたどる奈良」「神話の源流 みやざき」合同パネル展	
11	9月7日(火)～ 9月26日(日)	県立図書館	ビジネス支援関連展示 (宮崎大学ビジネスプランコンテスト展示及び身の回りの発明展含む)	○
12	9月29日(水)～ 10月10日(日)	中山間・地域政策課	中山間地域をみんなで支える県民運動	
		環境管理課	土呂久公害の教訓を次世代に引き継ぐための環境教育推進事業	
13	10月12日(火)～ 10月17日(日)	県立図書館	NHK大河ドラマ「青天を衝け」全国巡回展	○
14	10月19日(火)～ 11月7日(日)	県立図書館	秋の読書週間企画展	◎
15	11月10日(水)～ 11月21日(日)	都市計画課美しい宮崎づくり推進室	美しい宮崎づくりパネル展	
		生活・協働・男女参画課	女性に対する暴力をなくす運動パネル展	
16	11月25日(木)～ 12月5日(日)	県警本部県民広報課	犯罪被害者支援に関する企画展	
		長寿介護課	シニアパワー宮崎づくり企画展	

17	12月8日(水)～ 12月19日(日)	人権同和対策課	令和3年度「第73回人権週間」啓発パネル展	
		環境森林課	地球温暖化防止ギャラリー展	
18	12月21日(火)～ 1月16日(日)	県立図書館	やまびこ文庫紹介パネル展	◎
19	1月19日(水)～ 1月30日(日)	義務教育課【中止】	第9回「算数・数学の自由研究」作品コンクール 入賞作品展	
		森林経営課	森林・林業にふれてみませんか！	
20	2月16日(水)～ 2月27日(日)	県警本部サイバー犯罪対策課	サイバー犯罪被害防止パネル展	
		環境森林課	省エネルギー月間展	
21	3月2日(水)～ 3月13日(日)	税務課	令和3年度「税に関する絵はがきコンクール」作品展示	
		みやざき文化振興課	みやざきの「ひと」	
22	3月16日(水)～ 3月27日(日)	農政企画課	NOSAI「宮崎の農村」写真展	
		文化財課	宮崎の古墳文化パネル展	
合計				34事業

② 県内公共図書館（室）における巡回展

〈令和3年度実績〉

	場 所	時 期	内 容	機 関
1	宮崎市立佐土原図書館	4月・5月	宮崎の古墳文化パネル展	文化財課
		7月・8月	「土砂災害防止」パネル展	砂防課
		1月	ふるさとの水辺発表会	環境管理課
2	宮崎市きよたけ児童文化センター図書室	7月	みやざき食品ロス削減パネル展	循環社会推進課
		7月・8月	宮崎の古墳文化パネル展	文化財課
		12月	「第32回NOSA I 『宮崎の農村』写真展」	農政企画課
		3月	ふるさとの水辺発表会	環境管理課
3	延岡市立図書館	11月・12月	もっとよく知りたい再生エネルギーのこと	企業局総務課
		1月・2月	みやざき食品ロス削減パネル展	循環社会推進課
4	日向市立図書館	2月	森林・林業にふれてみませんか！	森林経営課
5	西都市立図書館	12月	ふるさとの水辺発表会	環境管理課
6	三股町立図書館	10月	「第32回NOSA I 『宮崎の農村』写真展」	農政企画課
7	綾てるは図書館	8月	「第32回NOSA I 『宮崎の農村』写真展」	農政企画課
8	新富町図書館	8月	宮崎の古墳文化パネル展	文化財課
		10月	ふるさとの水辺発表会	環境管理課
9	都農町民図書館	5月	美しい宮崎づくりパネル展	都市計画課美しい宮崎づくり推進室
		7月	統計グラフコンクール作品展	統計調査課
		12月・1月	「第32回NOSA I 『宮崎の農村』写真展」	農政企画課
		3月	土呂久公害の教訓を次世代に引き継ぐための環境教育推進事業	環境管理課
10	川南町立図書館	5月・6月	美しい宮崎づくりパネル展	都市計画課美しい宮崎づくり推進室
		8月	「第32回NOSA I 『宮崎の農村』写真展」	農政企画課
		11月	宮崎の古墳文化パネル展	文化財課
11	高千穂町立図書館	8月	みやざき食品ロス削減パネル展	循環社会推進課
		10月・11月	森林・林業にふれてみませんか！	森林経営課
				合計 11館（室） 24事業

## (9) 文化活動事業

### ① 第 63 回「こどもの読書週間」関連行事

毎年 4 月 23 日の「子ども読書の日」を中心とする「こどもの読書週間」は、良い本や良い雑誌に親しむことで子どもたちに読書の楽しみや喜びを伝え、また、大人には子どもの成長にとって「読書の習慣」がいかに大切なことか、良い本とはどんなものかを考える機会を提供するための啓発期間である。

県立図書館においても、子どもたちを良書に親しませ、読書活動等の体験等を通じて読書習慣を身につけさせることをねらいとして、次の関連行事を企画し実施した。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大のため一部中止となった。

期 間 令和 3 年 4 月 20 日(火)～5 月 9 日(日)

内 容

ア 企画展示 1 「ともに生きる」

内 容：共生社会の理解に関する本の紹介、展示

イ 企画展示 2 「宮崎大学学生による POP 展」

内 容：宮崎大学学生から小学生へのおすすめの本の紹介 POP と本の展示

ウ 企画展示 3 「こどもしつしょうかいコーナー」

内 容：えほん年間貸出数ベスト 10、ボランティア紹介、かば先生文庫の紹介など

エ 特別おはなし会「みんなと絵本を楽しもう」

内 容：図書館職員による、日本語、中国語、韓国語、手話による読み聞かせ、外国の手遊び

オ おはなし会

ボランティア団体、図書館職員による絵本や紙芝居の読み聞かせ

### ② 第 75 回「秋の読書週間」関連事業 「ミシマ社三島邦弘さんにきく 本の未来、出版の未来」

出版社ミシマ社の代表三島邦弘氏の講演、高校生による講師へのインタビューを通し、参加者が出版や流通の課題、今後の展望について学び、改めて本の魅力を考えるイベントを実施した。

日 時 令和 3 年 10 月 30 日(土) 午前 10 時 30 分から午後 12 時 30 分まで

会 場 県立図書館 2 階研修ホール

主 催 県立図書館（運営協力：県立宮崎西高等学校生徒）

参加者 36 名

<内容>

講演「～思いがけず三流でアナキズムな出版社からの提案～」

株式会社ミシマ社 三島 邦弘 氏

インタビュー

インタビュアー 県立宮崎西高等学校生徒

### ③ 特別展等

2階特別展示室において館蔵資料を中心とした貴重な資料を展示し、広く県民に公開した。令和3年度は、宮崎県内の歴史や文化、人物などを取り上げて紹介し、県民文化の向上を図った。また、普及活動として県内の生涯学習施設や関係機関と連携して巡回展や共催展を実施した。

#### <特別展>

「生命（いのち）を守る～語り継がれる災禍（さいか）の記憶～」

期 間 令和3年4月24日（土）～6月30日（水） 開催日数：34日  
※5月3日（月）～5月30日（日）の期間は新型コロナウイルス感染拡大防止のため展示を中止。

内 容 本館所蔵の『日本書紀（天・地）』や寄託資料『元禄二年南方村絵図』『庚戌抄書』第十三卷（伊東志摩守日記）等を展示し、過去の地震や噴火災害がどのように記録されているかを示した。

「若山牧水」～短歌（うた）への思いを辿る～

期 間 令和3年9月18日（土）～10月17日（日） 開催日数：26日

内 容 牧水の歌集や遺墨作品とともに、牧水創刊の詩歌総合雑誌『詩歌時代』の実物を展示した。また、親友・平賀春郊宛てに送られた手紙等を通して、牧水の文学・短歌への思いを紹介した。

#### <企画展>

「瑛九～故郷<sup>ふるさと</sup>みやざきと家族の絆～」

期 間 令和3年10月30日（土）～12月5日（日） 開催日数：32日

内 容 宮崎県立美術館開催の「生誕110年記念瑛九展～Q Ei 表現のつばさ～」にあわせて、瑛九の業績や人物像に迫る展示を行った。瑛九が『宮崎新聞』（夕刊）や『日向日日新聞』に執筆・掲載した美術評論、瑛九の幼い頃の様子を示す本館所蔵の『杉田直日記』のほか、当時の宮崎市の地図や航空写真を展示した。

#### <巡回展>

会場・期間 日向市立図書館・・・・・・・・・・・・ 6/8（火）～6/27（日）  
宮崎日本大学中・高等学校図書館・・・・ 7/1（木）～7/30（金）  
宮崎大学附属図書館・・・・・・・・・・・・ 10/4（月）～11/1（月）  
えびの市歴史民俗資料館・・・・・・・・・・ 12/7（火）～12/26（日）

内 容 令和2年度に実施した企画展「宮崎のダム」を再構成し、日向市立図書館、宮崎日本大学中・高等学校図書館、えびの市歴史民俗資料館との共催で実施した。宮崎大学附属図書館では、平成30年度に実施した企画展「没後90年若山牧水」を再構成し、同館との共催で実施した。

#### <共催展>

「遺跡発掘成果展 2021『再発見！1990年代調査の遺跡』」

期 間 令和3年8月20日(金)～9月5日(日) 開催日数：13日

内 容 宮崎県埋蔵文化財センターが、1990年代に発掘調査を行った主な遺跡から出土した遺物を、宮崎県埋蔵文化財センターとの共催で展示した。

#### ④ 郷土史料等学習活動

##### <宮崎県文化講座>

本県の継承すべき歴史や文化を紹介することで、地域の歴史や文化に関心と誇りをもち、地域文化の向上を図るとともに、県民の生涯学習を支援することを目的に、当館の研修ホールにおいて次のとおり実施した。

受講者計6名

回	期 日	演 題	講 師	受講者
1	7月17日(土)	「文化とまちづくり」	宮崎大学 地域資源創成学部教授 根岸 裕孝 氏	6名
2	8月21日(土) 【中止】	「好きな場所で好きなことを して生きていく」	スカイクリエイター 坂口 潤成 氏	—
3	1月23日(日) 【中止】	「夢の甲子園～人づくり 心 づくり チームづくり～」	宮崎県立富島高等学校教諭 濱田 登 氏	—

※第2回・第3回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

##### <古文書講座>

古文書に対して親しみを感じていただくと同時に、本県の歴史について理解を深めていただくことを目的に、当館が所蔵する史料をテキストとして利用して、古文書解読の講座を実施した。

受講者計64名

回	期 日	内 容	講 師	受講者
1	6月5日(土)	近世文書を読み解こう 「御軍備覚書」	那賀 教史 氏 (県史料筆耕解読員)	14名
2	7月3日(土)			16名
3	10月14日(木)	近世文書を読み解こう 「安南国漂流記」	柘植 幹雄 氏 (県史料筆耕解読員)	13名
4	10月28日(木)			7名
5	11月13日(土)			7名
6	11月27日(土)			7名

#### ⑤ 神話の源流みやざき「語り部」活用推進事業

これまで養成した神話・伝承等の「語り部」に、国文祭・芸文祭で語りの場を設定することで、「神話の源流みやざき」の言語文化への関心を持たせ、県民の言語文化継承の意識を高める。また、語り部の活動やその意義を知ってもらい、県内各地での活動を促すことにより、宮崎県の神話や民話などの言語文化をベースにした新たな観光コンテンツの育成を図る。

#### 〈国文祭・芸文祭パートナーシッププログラム「光と神話の世界」事前指導〉

国文祭・芸文祭パートナーシッププログラム「光と神話の世界」に向けての稽古として、県内で活動している劇団員等を講師に招き、これまでに養成した語り部に、発声方法や臨場感ある語りの手法等の指導を3回に分けて実施した。

(参加者：語り部5名)

実施日：令和3年7月18日(日)、8月8日(日)、8月22日(日)

会場：宮崎県立図書館 研修ホール

講師：池田 知聡 氏 (サラみやざき・オフィスM・A・Tプロダクション)

#### 〈国文祭・芸文祭パートナーシッププログラム「光の神話の世界」公演〉

日向神話を、狭野神楽、バレエ、ダンスパフォーマンス、映像、音楽等様々な形態で表現するコラボレーションステージの中で、養成した「語り部」が、語りを披露した。

(参加者：語り部5名)

実施日：令和3年9月11日(土)

会場：メディキット県民文化センター 演劇ホール

### (10) 郷土資料調査研究事業

郷土に関する資料の調査研究を進め、史料集等の印刷物を刊行するとともに、館蔵の貴重資料をデジタル化し、デジタルアーカイブの充実を図る。

#### ① 『宮崎県史料』

昭和49年度から継続している、現在県内唯一の史料刊行事業。古文書を活字化することにより、生涯学習や歴史解明の素材を提供し、県民の財産として将来の世代へ本県の歴史・文化を伝えることを目的として行っている。

令和3年度は『佐土原藩嶋津家江戸日記(二十三)』を刊行した。(100部)

#### ② 『宮崎県文化講座研究紀要』

本館で実施した宮崎県文化講座の発表内容を論文として公表し、講座の内容と研究の成果を広く公開することにより、本県の文化向上と生涯学習の充実を図ることを目的として刊行している。

令和3年度は『宮崎県文化講座研究紀要 第48輯』を刊行した。(100部)

#### ③ デジタルアーカイブ事業

1,110点の貴重資料をデジタルアーカイブとしてホームページ上で公開している。平成26年度のシステム更新により、登録可能データ数が増えたことから追加登録の作業を進めている。

平成30年度からは「佐土原藩島津家文庫」の電子化事業を実施している。令和3年度も引き続き同文庫を電子化し、50件をホームページ上のデジタルアーカイブで公開した。

(11) 「緑陰通信」発行事業

昭和 25 年より、宮崎県立図書館報として「緑陰通信」を発行している。

令和 3 年度は、No. 235（6 月）及び No. 236（1 月）を発行した。

(12) ホームページ等活用事業

県内全域をサービスエリアとする県立図書館として、県内均質のサービス向上を図るとともに、高度情報化社会に対応した図書館づくりを進めるため、ホームページにて図書館情報や資料情報、蔵書検索システム等を提供している。

- ・総合利用案内、行事の案内と紹介、郷土資料や宮崎の偉人紹介
- ・県立図書館蔵書検索、県内公共図書館等の横断検索（当館を含む 23 館が参加（R3.6.1 時点））
- ・パスファインダー（調査の内容や目的に応じた資料・情報の紹介）
- ・電子メールによるレファレンス
- ・インターネットを経由した資料貸出予約申し込み

また、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用した情報発信にも取り組むため、平成 28 年度からフェイスブックページを開設し、随時更新している。

〈パソコン用ホームページトップページアクセス件数の推移〉 単位（件）

年 度	H29	H30	R 1	R 2※	R 3
件 数	637, 440	1, 087, 461	320, 790	243, 672	273, 502

※令和 2 年度については、システム入替えのため、令和 3 年 2 月中旬から下旬までの件数はカウントされていない。

〈フェイスブックページアクセス件数〉 単位（件）

年 度	H29	H30	R 1	R 2	R 3
件 数	56, 632	52, 138	20, 258	19, 054	25, 618

〈フェイスブックフォロワー数〉 単位（人）

年 度	H29	H30	R 1	R 2	R 3
人 数	354	432	488	530	601



### (13) 体験学習・施設見学

図書館の業務や役割を理解し、図書館の活用を推進することを目的に、施設見学等を積極的に受け入れている。施設見学には、幼稚園・保育園・小中学校が社会見学として来館するのに加え、県総合文化公園一帯に所在する県の文化施設を巡る4館見学ツアー（県立美術館、県立芸術劇場、県総合博物館、県立図書館）を実施している。（平成24年度から「3館見学ツアー」として事業開始。その後平成28年度から県立芸術劇場も加わり「4館見学ツアー」となった。）

また、図書館業務を体験することにより、仕事の意義や大切さを知るとともに将来の進路選択に役立つよう、職場体験学習、インターンシップなどを積極的に受け入れているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大のため、いずれも中止となった。

#### 〈図書館体験学習〉（施設見学を含む。）

単位（団体・人）

種 別	団体数	延べ人数	備 考
幼稚園・保育所等	1	32	
小 学 校	7	432	
中 学 校	1	52	職場体験学習は中止
高 等 学 校	0	0	
特別支援学校	0	0	
大 学	0	0	インターンシップ、司書実習は中止
一 般	1	26	
合 計	10	542	

### (14) 「かば先生文庫」

平成24年10月に亡くなられた宮崎市内の佐藤小児科医院 故佐藤雄一院長の御遺族から、長年にわたり小児医療に力を注いできた院長の意思を継ぎ県内の子どもたちに役立ててほしいとの趣旨で、児童図書への寄贈申出があった。そこで、亡くなられた院長の愛称にちなんで「かば先生文庫」として創設し、児童図書室とBM書庫内に「かば先生」コーナーを設けて10年目を迎えた。

#### 〈利用開始までの経緯〉

- ・平成24年12月11日 御遺族からの「絵本贈呈式」の開催 1階ロビー
- ・平成25年2月14日 児童図書室内「かば先生」コーナー用書棚の増設
- ・平成25年4月29日 子どもの読書週間内で「かば先生」コーナーの開設式の開催（利用開始） 1階ロビー

#### 〈かば先生文庫整備数〉（令和4年3月31日現在）

1,901冊 内訳 児童図書室 754冊  
B M 書 庫 1,147冊

## (15) 講演会等の主催・共催

当館単独による主催又は県民の生涯学習に資する活動を行っている団体等との共催により各種の講演会等を実施した。

### ① 図書館フォーラム2021「まちの図書館の可能性を探る」

人口減少、超高齢化、少子化、自然災害、コロナ禍など、様々な課題を抱える地域社会において、公共図書館が市民の図書館としてどのようなことができるのか、県内図書館（室）、行政関係者、一般県民等がともに考えるイベントを開催した。

(講師等は県立図書館に集まり Web 配信。参加者はオンライン参加。)

日 時 令和4年3月6日(日) 13時30分から16時まで

配信会場 県立図書館

主 催 県立図書館(運営:特定非営利活動法人みやざき教育支援協議会)

参加者 33名

<内容>

基調報告「図書館をまちの真ん中に見たら?まちの課題・人々・記憶と出会うために」  
フルライトスペース株式会社特別研究員 豊田 高広 氏

取組事例

- 本屋をとめるな!:地元観光協会と連携した、地域経済活性化に資する図書館資料購入・装備の方法について 椎葉村図書館クリエイティブ司書 小宮山 剛 氏
- 本と町民のかけ橋に~より身近な図書館を目指して~  
美郷町教育委員会主幹 中原 芙季子 氏

県民提案

- 図書館×地域資源=地域づくり ~図書館でつながる!つなげる!よりよく生きる~  
地域福祉コーディネーター、日向市地域福祉コーディネーター連絡会所属 成合 進也 氏
- 「パブリックスペースとしての図書館の役割」  
宮崎県図書館協議会委員 宮川 央輝 氏

グループディスカッション

パネルディスカッション

コーディネーター 豊田 高広 氏

### ② 「みやざき自然塾コロキウム」

主催: NPO法人みやざき自然塾

定期的な学術・文化講演会等を開催した。

(会場: 視聴覚室)

	期 日	演 題	講 師	参加者
1	7月24日(土) (第47回)	飢餓の自然、歴史および文化的背景とマンショの足跡~伊東マンショを語る会(日南市)の活動を中心に~	井戸川 順一 氏(伊東マンショを語る会会長) 高木 正和 氏(伊東マンショを語る会事務局長)	42名
2	10月2日(土) (第48回)	満所(マンショ)よ、甦れ! ~歴史研究の集大成として~	竹下 勇 氏(都於郡城史文化研究会 前会長)	30名
3	11月20日(土) (第49回)	地球システムとダージーワールド ~地球温暖化防止への提言~	能田 成 氏(元京都産業大学・熊本大学教授)	42名
4	3月12日(土) (第50回)	「インドの人々と自然に魅せられて半世紀」	杉本 さくよ 氏(前NPO 宮崎県国際ボランティアセンター長並びに国際NGO 事業貢献者)	50名

### ③「ディスレクシアを理解する講演会」

主催：宮崎子どもと本をつなぐネットワーク

発達障害により読み書きに困難を有するディスレクシアについて理解を深め、配慮を要する点等を学ぶことを目的とした講演会を開催した。

(会場：研修ホール、視聴覚室)

	期 日	演 題	講 師	参加者
1	6月27日(日)	ディスレクシアを理解する講演会	神山 忠 氏 (元・岐阜特別支援学校地域支援センター長)	46名

### (16) 大学との連携

宮崎大学と「国立大学法人宮崎大学と宮崎県立図書館との連携協力に関する協定」を平成30年4月1日付けて締結している。

〈実績〉

ア 宮崎大学ビジネスプランコンテスト関連企画展

イ 宮崎大学附属図書館における「若山牧水展」企画展示の実施

ウ マイラインサービスの実施

### (17) 県立美術館との連携 “みて よんで かいて” 瑛九さんのヒミツ

瑛九生誕110周年を記念し、参加者が美術館や図書館で瑛九の関連展示を観覧し、図書館で文献等を調べた上で、瑛九の紹介原稿を作成するイベントを実施した。イベント終了後、紹介文は図書館のホームページで公開した。

参加者数 8名

開催日時 第1回 11月3日(水・祝) 展示観覧・情報収集

第2回 11月28日(日) 編集作業

第3回 12月4日(土) 共有・講評

※ほか各参加者は11月6日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)、27日(土)に情報収集、調査を実施。

### (18) 図書館地区別研修(九州・沖縄地区)

文部科学省の委託を受け令和3年度図書館地区別研修(九州・沖縄地区)を実施した。

開催期間 令和4年1月19日(水)～令和4年1月21日(金)

主 催 文部科学省 宮崎県教育委員会

配信場所 宮崎県立図書館

参加者数 142名

内容 【基調講演】リテラシーと情報リテラシーのあいだ：今後の図書館を考える  
根本 彰 氏(東京大学名誉教授)

【講義1】非来館者サービスとしての地域資料のデジタル化と電子資料のこれから  
間部 豊 氏(帝京平成大学准教授)

【講義2】図書館における資料保存とは—基本的な考え方と方策—  
眞野 節雄 氏(日本図書館協会資料保存委員長)

【演習(ワークショップ)】図書館資料の保存技術  
眞野 節雄 氏(日本図書館協会資料保存委員長)

【講義3】こども時代と絵本  
黒木 郁朝 氏(木城えほんの郷 村長)

【講義4】図書館としての医療・健康情報提供  
佐伯 真由佳 氏(鳥取県立図書館 係長)

【講義5】ラーニング・コモンズと公共図書館

朝倉 久美 氏（県立長野図書館 主査）  
【事例報告・鼎談】土地の記憶と図書館デザイン  
井上 康志 氏（都城市立図書館 館長）  
小宮山 剛 氏（椎葉村図書館 司書）  
朝倉 久美 氏（県立長野図書館 主査）

#### 開催方法

当初受講希望者は集合型とオンラインのどちらかを選択できることとしていたが、開催月に入り沈静化していた新型コロナウイルスの感染状況が急激に悪化し、全ての受講者についてオンラインに変更した。講師は一部来館、他はオンライン、録画により実施した。

#### (19) 宮崎県立図書館感謝状贈呈

当館では平成 30 年に「宮崎県立図書館感謝状贈呈規程」を定め、宮崎県立図書館の業務運営に関して多大な貢献、功績のあった団体又は個人に対し、感謝状を贈呈している。

令和 3 年度は、平成 24 年度から「かば先生文庫」として絵本や児童図書を寄贈していただいている佐藤保子氏に、10 年目の節目として感謝状贈呈を行った。

#### その他のこれまでの贈呈者

年度	個人・団体名等
平成 30 年度	竹内 敬一 氏 宮崎この人企画 小林 邦雄 氏
令和元年度	大津 貞子 氏

### 3 各種協議会等

#### (1) 県立図書館協議会

県立図書館協議会は、図書館法（昭和 25 年法律第 118 号）第 14 条及び県立図書館条例（昭和 25 年条例第 49 号）第 2 条の規定により設置しており、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関である。

#### ① 委員（任期：令和 2 年 7 月 1 日～令和 4 年 6 月 30 日）

区分	所属・職名	氏名	区分	所属・職名	氏名
社会教育関係者	宮崎大学地域資源創生学部教授	根岸 裕孝	学識経験者	(株)宮崎日日新聞社編集委員室長	鳥越 眞也
〃	小林市立図書館長	山下 町子	〃	会社員（公募委員）	宮川 央輝
学校教育関係者	宮崎県立宮崎西高等学校指導教諭	山崎 俊一	〃	都城島津邸館長	山下 眞一
〃	都城市立明和小学校長	満園 真由美	家庭教育向上活動を行う者	宮崎県 P T A 連合会副会長	河野 美保
社会教育関係者	小林市小・中学校「読みきかせ」連絡協議会会長	坂下 実千代	〃	会社員（公募委員）	小山 美香

※所属・職名は令和 4 年 4 月現在（一部委員につき任期途中の交代等あり）。

#### ② 令和 3 年度の開催状況

開催年月日	協議事項
令和 3 年 8 月 2 日(月)	ア 宮崎県立図書館の現状について イ 図書館評価について
令和 4 年 2 月 7 日(月) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため Web 会議システム利用による開催	ア 令和 3 年度の運営状況について イ 令和 4 年度の運営方針等について

## (2) 宮崎県公共図書館連絡協議会

宮崎県公共図書館連絡協議会は、県内の公共図書館及び公民館等図書室等の相互の連絡を密にし、図書館事業の進展を図ることを目的として昭和33年に発足した。昭和48年には全市町村が加入し、県内の読書活動を推進する大きな組織として発展している。

令和3年度は、下記のと通りの事業を実施した。

### ① 役員名簿（令和3年度）

役名	職名	氏名	備考
会長	宮崎県立図書館長	岩本真一	
副会長	西都市立図書館長	中村廣文	
〃	日之影町立図書館長	橋本範憲	
監事	綾てるは図書館長	中村清久	
〃	町立高鍋図書館長	山下美穂	
顧問	宮崎県市長会長	戸敷正	宮崎市長
〃	宮崎県町村会長	黒木定藏	西米良村長

### ② 事業実績 〈会議〉

期日	会場	議題
令和3年 5月24日	県立図書館 (オンライン 開催)	I 総会 1 令和2年度事業実績及び収支決算報告 2 令和3年度事業計画案及び収支予算案 3 令和3年度役員案  II 令和3年度協議・照会事項  III 連絡事項
令和4年 3月14日	県立図書館	中心館会議 1 令和3年度事業執行状況 2 令和4年度事業 3 市町村負担金・読進協次年度計画

### 〈研修〉

期日	会場	議題
令和3年 6月14日	県立図書館 (オンライン 併用)	職員研修 講義 「次世代を担う子どもたちに本を手渡すために ～児童サービスの基本を再確認する～」 講師 河井律子氏(近畿大学)
令和3年 7月5日	県立図書館 (オンライン 併用)	新任職員研修会(講師等はいずれも県立図書館職員) 説明 「図書館ネットワークの活用法について」 「マイラインサービス・やまびこ文庫について」 講義 「資料の収集等について」 「読書活動の重要性について」 「著作権について」

令和3年 8月23日	県立図書館 (オンライン 併用)	専門研修 読書活動 講義 「(創発)読書活動で豊かな対話を」 講師 中村 佳文氏(宮崎大学) 発表 川野 沙織氏(小林市立図書館)
令和3年 9月13日	県立図書館 (オンライン 併用)	職員研修 講義 「図書館サービスと著作権」 「最近の著作権法改正と新たな動き」 講師 南 亮一氏(元日本図書館協会 著作権委員会委員)
令和3年 10月25日	県立図書館 (オンライン 併用)	専門研修 障害者サービス 講義 「障害者サービスとは何か」 「読書バリアフリー法を生かした障害者サービスの実際」 講師 佐藤 聖一氏(埼玉県立久喜図書館) 発表 北方 俊二氏(えびの市民図書館)
令和3年 11月8日	県立図書館 (オンライン 併用)	職員研修 レファレンス研修会 講義 「ビジネス情報分野のレファレンス・サービス入門」 講師 藤原 誠氏(国立国会図書館)
令和3年 12月13日	県立図書館 (オンライン 併用)	職員研修 講義 「選書にあたって考えておきたいこととその実践」 講師 明定義人氏(京都橘大学)

〈県外研修派遣〉  
※ 派遣なし

〈図書館アドバイザー派遣〉  
18館 21名

③ 令和3年度総会表彰者名簿  
〈読書普及優良団体・個人〉

読書団体名	代表者名
絵本の会 まんまる (綾町)	森崎 志津子
音楽読み聞かせグループ ドロップス (都城市)	新穂 美代子

### (3) 宮崎県地方史研究連絡協議会

この会は、昭和 48 年 11 月 10 日に県内地方史の研究グループ・史談会、また郷土に関心をもつ個人を会員とし、相互の情報交換・研究発表を行い、県内の郷土史研究を進める目的で発足した。現在まで郷土史に関する情報交換・研究に尽力している。

#### ① 事業実績

##### <理事会・総会・研究発表会>

令和 3 年 6 月 23 日（水） 会場：県立図書館研修室

##### ・理事会

総会に向けての提案事項についての協議、秋季研究発表大会日向大会の概要説明等を行った。また、公共図書館・学校図書館と各地区の団体との連携について意見交換を行った。

令和 3 年 9 月 22 日（水） 会場：県立図書館研修ホールほか

##### ・総会

地区別協議会、第 2 回理事会および総会を 9 月 22 日に実施した。地区別協議会、第 2 回理事会では役員改選を行った。総会では、新役員紹介、提案事項について審議が行われ、すべての議案が承認されたほか、新型コロナウイルス感染拡大により、10 月実施予定であった秋季研究発表大会日向大会の中止が決定された。

##### <秋季研究発表大会>

日向大会（日向市）コロナ禍のため中止

##### <その他>

「地方史みやざき 第 66 号」の発行

#### ② 役員及び加入団体

<役員> 任期：令和 3 年 6 月～令和 5 年 6 月

会 長 橋本 孝則（都城史談会）

副会長 柏田 公和（日向市史談会）、岩切 昭一（高鍋史友会）

神保 侃弘（日南郷土史会）

監 事 加藤 建夫（小林史談会）、湯浅 倉平（個人会員）

地区理事 甲斐 典明（延岡史談会）、椎 敏夫（木城史友会）

亀澤 轟幸（えびの市史談会）、原口 勝（佐土原郷土史会）

佐藤 正信（個人会員）、牧 貴（月刊宮崎とらや郷土文化研究所）

顧 問 飛田 博温（高鍋史友会）

事務局 宮崎県立図書館内



〈加入団体〉

(令和4年3月31日現在)

名 称	代 表 者	所 在	名 称	代 表 者	所 在
延岡史談会	甲斐 典明	延岡市	佐土原郷土史会	原口 勝	宮崎市
日向市史談会	柏田 公和	日向市	えびの市史談会	亀澤 轟幸	えびの市
木城史友会	椎 敏夫	木城町	小林史談会	加藤 建夫	小林市
高鍋史友会	岩切 昭一	高鍋町	都城史談会	橋本 孝則	都城市
宮崎考古学会	長津 宗重	宮崎市	南九州文化研究会	田代 義博	都城市
宮崎県総合博物館	川口 泰夫	宮崎市	日南郷土史会	神保 侃弘	日南市
宮崎県埋蔵文化財センター	菊村 祐司	宮崎市	串間史談会	堀口 勉	串間市
月刊宮崎とらや郷土文化研究所	牧 貴	宮崎市	北郷町史談会	本山 隆義	日南市

○団体会員：16 団体      個人会員：4 名

## (4) 令和4年度宮崎県立図書館資料推薦委員

番号	推薦分野	氏名	所属等	委員種類
1	歴史学（古代史、中世史）	永井 哲雄	元県史編さん室長	個人委員
2	歴史学（近世史）	大賀 郁夫	宮崎公立大学教授	〃
3	歴史学（西洋史）	中堀 博司	宮崎大学教育学部准教授	〃
4	自然科学	木下 統	宮崎大学農学部准教授	〃
5	経済学	根岸 裕孝	宮崎大学地域資源創成学部教授	〃
6	社会科学（法律）	山田 秀一	宮崎県弁護士会	〃
7	語学（英語）	ウォーカー・ロイド	宮崎国際大学副学長 地域連携センター長	〃
8	〃（韓国語）	李 善愛	宮崎公立大学教授	〃
9	〃（中国語）	田宮 昌子	宮崎公立大学教授	〃
10	〃（中国語）	園田 美伽	宮崎産業経営大学等非常勤講師	〃
11	〃（外国語一般）	川添 哲郎	宮崎県国際交流協会常務理事	〃
12	図書館学	佐藤 由紀枝	宮崎学園短期大学非常勤講師	〃
13	自然科学・歴史	岩切 喜郎	県総合博物館長	あて職委員
14	美術	四本 孝	県立美術館長	〃
15	教育	黒木 貴	教育研修センター所長	〃
16	産業（フードビジネス）	宇土 智子	宮崎県産業振興機構経営情報課長	〃
17	健康	和田 陽市	宮崎県参事兼福祉保健部次長	〃
18	衛生・環境	藤崎 淳一郎	衛生環境研究所長	〃
19	工学	大衛 正直	工業技術センター所長	〃
20	土木・建築	中原 学	技術企画課長	〃
21	農業	東 洋一郎	総合農業試験場長	〃
22	水産	西府 稔也	水産試験場長	〃
23	畜産	河野 明彦	畜産試験場長	〃
24	林業	廣島 一明	林業技術センター所長	〃
25	体育	甲斐 久志	スポーツ指導センター所長	〃
26	福祉（障がい者）	藤井 浩介	障がい福祉課長	〃
27	考古学	菊村 祐司	埋蔵文化財センター長	〃

## 【 参考資料 】

# 1 沿革

## (1) 県立図書館の歩み

年 月	図 書 館 の 歩 み
明治 35 年 5 月	私立日州教育会附属図書館を県に移管して創立。蔵書 2,300 冊、建物延 155.10 m <sup>2</sup> (47 坪)。
大正 4 年 11 月	御大典記念事業として工費 15,000 円新館建設。
大正 5 年 1 月	新館開館 (第 2 代館)。
昭和 24 年 5 月	工費 10,115,000 円で増改築。
昭和 25 年 4 月	宮崎県立図書館報「緑陰通信」創刊。
昭和 26 年 8 月	宮崎県立図書館協議会発足。
昭和 29 年 1 月	自動車文庫「やまびこ」開設、県内巡回開始。
昭和 30 年 4 月	佐土原藩嶋津家日記の翻訳開始。
昭和 33 年 4 月	県内公共図書館連絡協議会・県内公共図書館 7 館で発足。
昭和 34 年 4 月	近隣の町村会館から出火、類焼のため建物 1,900.80 m <sup>2</sup> (576 坪)、蔵書約 15,000 冊、フィルム 650 本、レコード 2,200 枚、美術品、庁用器具等焼失。
昭和 36 年 4 月	総工費 100,280,000 円 (付帯含む。) で新館完成。鉄筋コンクリート 3 階建、延面積 3,245 m <sup>2</sup> (986 坪)。
7 月	新館開館 (第 3 代館)。
9 月	「やまびこ」2 号車運行開始。
昭和 37 年 4 月	5 ヶ年計画で P T A 母親文庫を開設。
昭和 40 年 1 月	宮崎県郷土史料総合目録を刊行。
昭和 41 年 4 月	3 ヶ年計画で行政資料所在目録調査開始。
昭和 42 年 5 月	複写サービス開始。
昭和 43 年 4 月	10 年計画で内藤家文書 (明治大学所蔵) のマイクロ撮影開始。
6 月	3 ヶ年計画で 3 級地以上の「へき地校」に「へき地仲よし子ども図書館」の設置開始。
8 月	「やまびこ」3 号車運行開始。
昭和 44 年 1 月	宮崎県行政資料所在目録刊行。
昭和 45 年 4 月	5 ヶ年計画で蔵書目録刊行事業開始。
	内藤家文書 (マイクロ・フィルム) の翻訳開始。
7 月	閲覧室冷房工事完了。
昭和 46 年 3 月	蔵書目録第 1 巻 (総記、哲学、歴史編) 刊行。
昭和 47 年 3 月	蔵書目録第 2 巻 (社会科学編) 刊行。
7 月	開架室の増設 (1 万冊を 2 万冊へ)。
9 月	県内公共図書館連絡協議会へ 21 市町村の加入。
昭和 48 年 3 月	蔵書目録第 3 巻 (自然科学、工学、工業、産業) 刊行。
4 月	自動車文庫による配本を 3 ヶ年計画で拠点サービス方式に切り換えることにし当年度に 22 町村が完了。
	宮崎県史料刊行事業開始。
7 月	県内公共図書館連絡協議会へ全市町村加入。 小中学生に対する館外貸出制度新設。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和48年11月	宮崎県地方史研究連絡協議会を結成、研究大会開催。
昭和49年1月	購入雑誌を146種類（従来63種類）に増加。
3月	蔵書目録第4巻（芸術、語学、文学編）刊行。
4月	機構改正により、総務課に総務係、調査連絡係。資料課と奉仕課の業務を再編成し館内奉仕課とし奉仕係、相談係、館外奉仕課に地方奉仕係、児童奉仕係を設け、史料刊行事業を推進するため史料室を独立した。 古文書解読研究会（館内職員）発足。 郷土文化講座（4講座）を開催。 県内の読書推進に寄与することを目的に10冊文庫を設置。 拠点サービス方式により市町村の自主的なサービス網の拡大のため特別貸出制度開設。
11月	全国公共図書館整理部門研究集会（27日～29日 中小企業センターほか）を開催。
昭和50年3月	宮崎県地方史研究紀要第1輯刊行。 宮崎県史料の刊行開始。
4月	市町立図書館の文化活動をすすめる一助として地方文化講座を開設。延岡・都城・小林の3地区で開催。 へき地の小中学生を対象に「へき地仲よし子ども大会」を開催。
昭和51年1月	郷土文化講座（4講座）に自然科学講座を加える。
3月	宮崎県地方史研究紀要第2輯刊行。 蔵書目録第5巻（昭和48年度までの補遺）刊行。
昭和52年3月	宮崎県地方史研究紀要第3輯刊行。
4月	重要貴重図書購入5ヶ年計画を立案、実施。
8月	「やまびこ」4号車運行開始。
10月	蔵書目録第6巻（昭和49年度増加目録）刊行。
昭和53年1月	宮崎県地方史研究紀要第4輯刊行。
3月	蔵書目録第7巻（昭和50年度・51年度増加目録）刊行。
昭和54年3月	宮崎県地方史研究紀要第5輯刊行。
4月	N. D. C8版・N. C. R予備版に切換え。
6月	新収図書目録・県内公共図書館収蔵郷土資料目録刊行開始。
8月	全館冷房工事完了。
10月	開架室の増設（2万冊を2万4千冊に）。
昭和55年3月	宮崎県地方史研究紀要第6輯刊行。
6月	児童読書傾向調査実施。
昭和56年1月	県立図書館基本構想に関する報告書がまとまる。
3月	宮崎県地方史研究紀要第7輯刊行。
6月	県民読書傾向調査実施。
昭和57年3月	宮崎県地方史研究紀要第8輯刊行。
9月	県民読書環境整備促進事業実施（12月まで）。
12月	西日本子ども文庫寄贈（第5回目200冊）西日本新聞社。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和58年 1月	日曜日開館試行（3月まで第2、第4日曜日）。
3月	宮崎県地方史研究紀要第9輯刊行。
5月	日曜日開館再試行（3月まで第3日曜日を除くすべての日曜日）。
9月	宮崎県総合文化公園基本構想検討会議に館長が委員として参画。
昭和59年 3月	上記検討会議が宮崎県総合文化公園基本構想策定に関する意見を提出。 宮崎県地方史研究紀要第10輯刊行。
4月	日曜日開館実施。
6月	宮崎県立図書館新館建設計画作成委員会設置（2月まで委員会11回を開催）。
昭和60年 1月	宮崎市杉田正臣氏より図書等9,322点寄贈（「杉田文庫」創設）。
3月	宮崎県立図書館新館建設計画作成委員会で新館建設計画書を作成、県教育委員会へ報告。 宮崎県総合文化公園基本構想検討会議が県総合文化公園基本計画公表。 宮崎県地方史研究紀要第11輯刊行。
4月	新館建設準備委員会（3月まで5回開催）及びコンピュータ導入委員会（3月まで13回開催）設置。
7月	新館建築、設計委託契約（安井・宮崎建築設計共同企業体）。昭和61年3月20日設計完了。
9月	宮崎市岩切章太郎氏香典返しとして500万円寄贈（「岩切文庫」創設）。
10月	全国公共図書館整理部門研究集会（17日～18日ホテルフェニックス）を開催。
昭和61年 3月	宮崎県地方史研究紀要第12輯刊行。 宮崎市杉田正臣氏より図書等2,196点寄贈（「杉田文庫」へ受入れ）。 杉田文庫目録（図書の部）刊行。
10月	新館建設工事契約県議会議決。 新館建設工事着工。
昭和62年 3月	宮崎県地方史研究紀要第13輯刊行。 杉田文庫目録（遺墨類）刊行。
12月	新館完成、引渡。
昭和63年 1月	旧館閉鎖。
2月	新館へ移転開始（第4代館）。
3月	宮崎県地方史研究紀要第14輯刊行。
4月	機構改革4課8係。
5月	新館落成・開館記念式典及び記念行事。 コンピュータ・システム稼働。 財団法人宝くじ協会より移動図書館車寄贈（「やまびこ」5号車運行開始。）。 安井息軒銅像除幕式。 開館記念 「杉田文庫 稀覯資料展」開催。 「杉田文庫 俳諧資料展」開催。
7月	図書館ボランティア養成講座開設。
10月	全国図書館大会次期開催誘致表明。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和63年11月	読書週間記念「杉田作郎展」開催。
平成元年2月	全国図書館大会準備会発足。 全国図書館大会分科会構成検討委員会開催。 ビデオテープ「宮崎県内の若山牧水歌碑そのー1」作成。
3月	宮崎県地方史研究紀要第15輯刊行。
4月	平成元年度全国図書館大会第1回実行委員会開催。
5月	新館開館1周年記念「よい絵本展」「緑陰映写会」「外国図書館展」「稀覯資料特別展」開催。
7月	紀宮様（清子内親王殿下）本館御視察。
10月	平成元年度全国図書館大会第2回実行委員会開催。 平成元年度全国図書館大会（25日～27日サンホテルフェニックス外）開催。
11月	日本図書館協会百年史県内編集会議。
平成2年1月	新館の入館者100万人を突破。
2月	児童図書館研究会宮崎学習会開催（延岡ロイヤルホテル）。
3月	平成元年度全国図書館大会第3回実行委員会開催。 宮崎県地方史研究紀要第16輯刊行。 ビデオテープ「宮崎県内の若山牧水歌碑そのー2」作成。
7月	第1回緑陰ビデオフォーラム開催。
11月	九州各県及び政令指定都市立図書館郷土資料部門研究集会（29日～30日みやざき会館）開催。
平成3年1月	「瑛九作品展」開催。
3月	図書館紹介ビデオ作成。 宮崎県地方史研究紀要第17輯刊行。 「嶠南日誌」1巻の発行（3巻で終刊）。
5月	九州各県及び政令指定都市立図書館長会議（28日～29日みやざき会館）開催。
平成4年3月	県立図書館コンピュータシステム一部開発（蔵書目録・主題検索）。 宮崎県地方史研究紀要第18輯刊行。
6月	「杉田文庫 資料展」開催。
9月	第1回宮崎県図書館ネットワーク検討委員会開催。
10月	宮崎県立図書館創立90周年記念「文化講演会」開催。
平成5年2月	九州地区公共図書館ゼミナール開催。
3月	宮崎県図書館ネットワーク大綱、宮崎県図書館ネットワーク実施要綱制定。 県立図書館コンピュータシステム一部開発（利用者開放端末・ネットワークシステム）。 宮崎県地方史研究紀要第19輯刊行。
4月	コンピュータ新システムへ移行（MILAI II）。
6月	「杉田文庫 常設展」開催。
7月	宮崎県立図書館コンピュータネットワークシステム（通称Myline）運用開始（当初5市町村加入）。 宮崎県立図書館協力連絡車運行開始。
10月	「瑛九作品展」開催。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 6 年 1 月	「杉田文庫 常設展」開催。
3 月	図書館利用案内ビデオ「本・出会い」作成。
	宮崎県地方史研究紀要第 20 輯刊行。
	「内藤充真院道中記」刊行。
6 月	「杉田作郎と 50 名の俳人たち」開催。
9 月	九州各県及び政令指定都市立図書館総務・情報部門担当者会議開催。
10 月	「杉田文庫 はるかなる芭蕉展」開催。
平成 7 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 21 輯刊行。
	「佐土原藩・唐船漂着記」刊行。
	図書館利用案内ビデオ「本のかげ橋」制作。
	県立図書館ネットワークシステムへ 20 市町村加入済。
10 月	宮崎県総合文化公園グランドオープン記念事業「21 世紀の子どもたちに伝えるみやざきの本 100 冊展」開催。
	「芥川賞・直木賞受賞作品と作家肖像展」開催。真筆特別展「杉田文庫の世界」開催。
12 月	「21 世紀の子どもたちに伝えるみやざきの本 100 冊の本」刊行。
平成 8 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 22 輯刊行。
	「佐土原藩・日向諸藩騒動記」刊行。
4 月	機構改革 4 課 7 係。
	ビデオテープ「目で見るみやざき 100 冊の本」、カセットテープ「耳で聞く 100 冊の本」作成。
平成 9 年 1 月	「杉田文庫公開展」開催。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 23 輯刊行。
	「佐土原藩譜」刊行。
	瑛九絵画作品等 86 点を県立美術館へ移管。
6 月	図書貸出限度冊数 3 冊を 5 冊に、児童図書室の平日の開館時間を午前 9 時に変更。
10 月	特別展「サミット新聞報道展」を開催。
	特別展「文学賞受賞作品展」、「牧水賞・牧水作品展」開催。
11 月	初めての屋外弦楽・フルートコンサートを実施。
平成 10 年 1 月	「城ヶ崎俳壇・作郎の周辺」開催。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 24 輯刊行。
	「佐土原藩譜（二）」刊行。
	マイライン全市町村接続。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing」の稼働。
	CD-ROM 設置。
6 月	「子どもの心を育てる図書館活動推進事業」により、図書館と学校との融合の在り方について研究開発を行う（平成 10 年～11 年）。
8 月	美術館、芸術劇場と初の共同企画事業特別展「華麗なるハプスブルク家ゆかりの図書展」開催。
10 月	図書館づくりフォーラム開催。
	特別展「郷土の文学・受賞作家作品展」開催。



年 月	図 書 館 の 歩 み
平成10年11月	「図書館フェスタ」開催。
平成11年1月	「杉田作郎品展」開催。
3月	宮崎市平嶋周次郎氏香典返しとして30万円寄贈（「平嶋文庫」創設）。 宮崎県地方史研究紀要第25輯刊行。 「佐土原藩譜（三）」刊行。
6月	館蔵貴重資料展「20世紀の初等教育を支えた教科書展」開催。
7月	美術館との共同事業特別展「風の記憶 安野 光雄ポスターと図書展」開催。
平成12年1月	「杉田文庫近代文学展」開催。
4月	インターネットによるホームページ開設。
6月	サミット宮崎外相会合記念特別展「サミット図書展」開催。
9月	宮崎県地方史研究紀要第26輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（一）刊行。
10月	全国公共図書館参考事務研究集会開催。
平成13年3月	宮崎県地方史研究紀要第27輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（二）刊行。
4月	「みどりの図書館づくり」事業発足。
11月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成14年1月	読み聞かせ研修会開催。
2月	図書館地区別研修（九州・沖縄地区）開催。
3月	宮崎県地方史研究紀要第28輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（三）刊行。
10月	図書館創立100周年記念事業を開催。
11月	100周年記念式典。
平成15年2月	九州各県及び政令指定都市立図書館奉仕部門担当者会議開催。
3月	「100年のあゆみ」刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（四）刊行。 宮崎県地方史研究紀要第29輯刊行。
4月	新コンピュータシステム「iLiswing21/UX」の稼働。 県内図書館横断検索システム導入（4館）。
7月	国立国会図書館総合目録ネットワークへの参画。 パソコン2台でのインターネット閲覧サービス開始。
平成16年3月	宮崎県地方史研究紀要第30輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（五）刊行。
4月	組織改正、視聴覚係を読書推進係に変更。 持ち込みパソコンでのインターネット閲覧サービス開始（7席）。
6月	「ビジネス情報コーナー」の開設。
10月	九州各県及び政令指定都市立図書館総合・経営部門担当者会議開催。
平成17年3月	宮崎県地方史研究紀要第31輯刊行。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 17 年 3 月	佐土原藩嶋津家江戸日記（六）刊行。
4 月	祝日開館試行開始。
5 月	入館者 1,000 万人突破。
6 月	閲覧室内学習室改装「郷土資料室」の新設。
10 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 図書館利用講座開始。
12 月	6 代目移動図書館車「やまびこ」引継。
平成 18 年 1 月	ビジネス相談窓口の共同設置開始。
2 月	移動図書館車「やまびこ」養護学校訪問開始。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 32 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（七）刊行。
4 月	2 課 7 担当制に組織改正。
7 月	宮崎県環境情報センターオープン。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	図書館サービス計画ワークショップ開催。
平成 19 年 1 月	図書館フォーラム開催。
2 月	閲覧室内改装ロッカー室廃止、「環境情報センター」、「新聞・AVコーナー」移動。
3 月	ビジネス支援フォーラム開催。 身障者用駐車場屋根工事完成。 宮崎県地方史研究紀要第 33 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（八）刊行。
4 月	ホームページにみやざき本のページ開始。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	「みやざき発 Live! Library～地域づくりと図書館のミッション」開催。
平成 20 年 2 月	図書館サイン見直し。 健康情報コーナー設置。 「学校図書館運営のてびき」発行。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 34 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（九）刊行。
4 月	2 課 6 担当制に組織改正。
11 月	中村地平生誕 100 年記念講演会開催。 「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 21 年 1 月	宮崎県町村会主催 県立図書館共催により「地域づくり・ひとづくりを考えるシンポジウム」開催。
2 月	「子育て支援コーナー」の開設。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 35 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十）刊行。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing21/UX+」の稼働。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成21年11月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成22年3月	「アメリカンシェルフ」オープン。 宮崎県文化講座研究紀要第36輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十一）刊行。
4月	県産業支援財団、県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）、県立図書館の四者で、ビジネス支援に関する覚書を締結。
6月	口蹄疫拡大防止のため、6月12日から7月26日の間、休館。
8月	第34回全国高等学校総合文化祭御臨席、秋篠宮・同妃両殿下、佳子内親王殿下本館御視察。
9月	「親子の絆を深める子育て読書推進事業」移動図書館車「やまびこ」子育て支援センター訪問開始。
10月	新書庫へ視聴覚演習室改修（収蔵能力4万冊増）。
11月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 図書館地区別研修（九州・沖縄地区）開催。
平成23年3月	児童室内に授乳スペースの設置。 貸出点数を1人5点から10点（児童図書室の資料は5点まで）に変更。 宮崎県文化講座研究紀要第37輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十二）刊行。 県立図書館ブログ開始。
11月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成24年1月	ルース駐日アメリカ大使来館、河野知事と英語の絵本の読み聞かせ会開催。 古事記編さん1300年記念閲覧室内「古事記・日本書紀」コーナーを設置。
2月	閲覧室AVコーナー機器更新・液晶DVD対応機器導入。
3月	話集・音声CD「みやざきの言の葉」（神話・伝承、民話編）刊行。 宮崎県文化講座研究紀要第38輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十三）刊行。
5月	書庫の空調・電気設備改修工事に伴い休館（5月21日から6月8日まで）。
7月	子育て相談おはなし会開始。 福岡アメリカンセンターとの共催で伊藤頼子氏特別講演会及び英語の絵本読み聞かせ会開催。
9月	空調用「冷温水器発生機」更新及び改修に伴い北玄関封鎖（9月26日から11月26日まで）。
11月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12月	宮崎市佐藤雄一氏の御遺族から児童書・絵本の寄贈（10年間 3,000冊）。「かば先生文庫」を創設、贈呈式。 図書館政策フォーラム「図書館はどう使えるか～明日の生きる力と図書館～」開催。
平成25年2月	児童図書室、移動図書館車「やまびこ」に「かば先生コーナー」の棚整備。 閲覧室内の新聞コーナー、データベース・パソコンコーナーの模様替え。オンラインデータベース用パソコン2台増設。マルチメディアダイジェスト体験コーナー設置。 宮崎県環境情報センターを1階閲覧室から1階ロビーに移転。
3月	宮崎県文化講座研究紀要第39輯刊行。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 25 年 3 月	佐土原藩嶋津家江戸日記（十四）刊行。
4 月	歌人 伊藤一彦氏が名誉館長に就任。 子どもの読書週間期間中に「かば先生コーナー」の開設式を開催。 置県 130 年記念特別展「宮崎県誕生」を開催。
5 月	伊藤名誉館長就任記念講演会を開催。
6 月～11 月	「次世代につなぐ『みやざきの言の葉』継承事業」（語り部養成講座、巡回パネル展〈以上日南市・西都市〉、子どものための講座〈西都市〉、講演会〈西都市〉）を実施。
9 月	本県出身のノンフィクション作家高山文彦氏を招き、県文化講演会「文学と故郷」を開催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 26 年 3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 40 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十五）刊行。
4 月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス提供開始。
5 月	在福岡アメリカ領事館首席領事による英語読み聞かせ会開催。
9 月	知事とのふれあいフォーラム開催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 27 年 1 月	在福岡アメリカ領事館（福岡アメリカンセンター）及び宮崎国際大学との共催による「アメリカンシェルフプロジェクト講演会『マンガを使って英語を教える・学ぶー漫画家が伝授する英語の上達法一』」開催。
2 月	新県立図書館システム（iLisfiera V3 L8）稼働。
3 月	障がい者サービス開始。 宮崎県文化講座研究紀要第 41 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十六）刊行。
4 月	伊藤一彦氏が名誉館長に再任。 日曜・祝日の閉館時刻を午後 5 時から午後 7 時に延長。 「日本一の読書県づくり」プロジェクト発足。 県政の重点施策情報発信事業の巡回展示開始。
7 月	「九州地区図書館の集い」を共催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 28 年 2 月	閲覧室の持込用パソコンコーナーを 6 席増設（全 20 席）。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 42 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十七）刊行。 移動図書館車「やまびこ」廃止（平成 28 年 6 月 7 日より「やまびこ文庫」に移行）。
4 月	新マイラインサービス開始。 県立図書館公式フェイスブックページを開設。
5 月	県立図書館ビジョン懇談会発足。 伊藤一彦名誉館長おすすめの本のコーナー展示開始。
6 月	移動図書館車「やまびこ」から「やまびこ文庫」への引継式。「やまびこ文庫」開始。
8 月	宮崎県立宮崎海洋高等学校の実習船による長期乗船実習への「やまびこ文庫」の貸与開始。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 28 年 11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 伊藤一彦名誉館長とともに若山牧水のふるさとを訪ねる「牧水が見た風景」開催。 県立図書館ビジョン懇談会の提言「これからの宮崎県立図書館について」とりまとめ。
12 月	未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業「語り部のつどい」開催。
平成 29 年 1 月	在福岡アメリカ領事館領事による英語読み聞かせ会開催。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 43 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十八）刊行。
4 月	伊藤一彦氏が名誉館長に再任。 ストリートブックフェア in みやざき国際ストリート音楽祭 2017 にて出展。
5 月	プレミアムフライデーと連動し働く世代と家族向けミニイベント実施（～12 月毎月 1 回）。
6 月	若山牧水の高弟竹中皆二氏の御遺族から牧水が創刊した短歌雑誌「創作」を寄贈（全 878 冊）。 「私のすすめるこの一冊～高校生の声～」で県内高校生におすすめの本を募集（～10 月）。
8 月	大人のためのおはなし会開始。 「理科読」事業開始。
10 月	名誉館長文化講演会「若山牧水と『創作』」開催。 「みどりの図書館フェスタ」台風接近による天候不良のため開催中止。 対がん情報コーナー設置。
12 月	「宮崎県立図書館ビジョン」策定。 トークセッション「私のすすめるこの一冊～高校生の声～」開催。 未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業「語り部のつどい」開催。 「かば先生文庫」寄贈 5 周年記念おはなし会開催。
平成 30 年 2 月	若山牧水没後 90 年企画「若者たちよ！いざ牧水を語ろう～対談・討論・読書活動の集い～」を 宮崎大学と連携して開催。
3 月	宮崎県立図書館ビジョン「第 1 期アクションプラン」策定。 宮崎県文化講座研究紀要第 44 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十九）刊行。
4 月	宮崎大学との連携協力に関する協定締結。
5 月	「本で世代をつなぐ読書活動推進事業 中・高生に伝えたい『おすすめの一冊』」作品募集（～ 7 月）。
7 月	「がん相談支援に関する講演会・相談会」を宮崎大学と連携し初めて開催。
10 月	「新館 30 周年記念 みどりの図書館フェスタ」開催。 県立図書館書庫増設検討委員会設置。
11 月	故小林邦雄氏の御遺族より若山牧水遺墨等寄贈。
平成 31 年 3 月	屋上防水改修工事（工区 1）完了（工期 10/23～3/25）。 宮崎県文化講座研究紀要第 45 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（二十）刊行。
4 月	伊藤一彦氏が名誉館長に再任。
令和 元年 5 月	「新元号『令和』記念講演会」開催。

年 月	図 書 館 の 歩 み
令和 元年 6月	「本で世代をつなぐ読書活動推進事業 大切なあなたへ贈る『私の1冊』」作品募集（～7月）。
7月	国立国会図書館歴史的音源サービス提供開始。
10月	(株) 内田洋行が2階ロビースペースの空間構築ユニット及び関連物品を寄贈。
11月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
令和 2年 1月	屋上防水改修工事（工区2）完了（工期10/2～1/29）。
3月	宮崎県文化講座研究紀要第46輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（二十一）刊行。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため3/5～3/26 臨時休館。
4月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/21～5/10 臨時休館。
6月	「本で世代をつなぐ読書活動推進事業 伝えたい！教えたい！私の一番好きな本」作品募集（～7月）。
10月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
令和 3年 2月	屋上防水改修工事（工区3）完了（工期10/26～2/19）。
3月	新県立図書館システム（iLisfiera V3 L13）稼働。 「コロナ禍でオンラインでの図書館サービスを考える120分」開催。 北口自動ドア新設工事完了（工期12/24～3/23）。 トイレ洋式化工事（6基）完了（工期12/16～3/25）。 宮崎県文化講座研究紀要第47輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（二十二）刊行。 宮崎県立図書館ビジョン「第2期アクションプラン」策定。
4月	伊藤一彦氏が名誉館長に再任。
8月	国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス提供開始。
12月	『読む』サポートコーナー設置。
令和 4年 1月	図書館地区別研修（九州・沖縄地区）開催。
3月	宮崎県文化講座研究紀要第48輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（二十三）刊行。 トイレ洋式化（4基）及び手洗器自動水栓化（12台）工事完了（工期8/17～3/25）。

## (2) 歴代館長名

歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考	歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考
初代	明治 35. 5	明治 35.10	沢田 重遠	学務課長兼	29	昭和 51.4	昭和 53. 3	日高 千文	専任
2	" 36.11	" 38. 5	山内 卯太郎	県視学兼	30	" 53. 4	" 57. 3	三宅 孝明	"
3	" 38. 6	" 40. 2	小山 季郎	"	31	" 57. 4	" 59. 3	比江島重俊	"
4	" 40. 2	" 42.12	石神 徳蔵	"	32	" 59. 4	平成 2. 3	大坪 學	"
5	" 43. 1	大正 2. 6	市川 覃	学務課長兼	33	平成 2. 4	" 4. 3	新貝 晴男	"
6	大正 2. 6	" 2. 8	林 寿夫	"	34	" 4. 4	" 5. 3	久徳 菊雄	"
7	" 2. 8	" 3. 8	卜部 正一	"	35	" 5. 4	" 6. 3	村岡 啓吾	"
8	" 3. 8	" 8. 2	山内 卯太郎	専任	36	" 6. 4	" 8. 3	佐野 芳弘	"
9	" 8. 2	" 11. 3	新原 俊秀	"	37	" 8. 4	" 9. 3	黒木 康博	"
10	" 11. 4	" 11. 8	天谷 虎之助	学務課長兼	38	" 9. 4	" 11. 3	安田 天祥	"
11	" 11. 9	" 12.11	岡本 保三	"	39	" 11. 4	" 13. 3	四元 邦和	"
12	" 12.12	" 14. 4	小山 三郎	"	40	" 13. 4	" 14. 3	島内 清成	"
13	" 14. 5	昭和 4. 3	多胡 全	社会教育主事兼	41	" 14. 4	" 15. 3	早川 烈	"
14	昭和 4. 4	" 4. 6	古城 林	学務課長兼	42	" 15. 4	" 15. 8	岩崎 武	"
15	" 4. 7	" 5.12	阿賀 正美	"	43	" 15. 8	" 19. 3	伊藤 惇一	"
16	" 5.12	" 6.12	手島 伝	"	44	" 19. 4	" 21. 3	宮永 博美	"
17	" 6.12	" 7. 1	中島 知道	"	45	" 21. 4	" 22. 3	一原 則幸	"
18	" 7. 2	" 13. 3	若山 甲蔵	専任	46	" 22. 4	" 23. 3	矢野 好孝	"
19	" 13. 3	" 16. 3	桐山 修	専任嘱託	47	" 23. 4	" 24. 3	高島 俊一	"
20	" 16. 3	" 17. 5	山本 栄喜	社会教育課長兼	48	" 24. 4	" 25. 3	甲斐 睦教	"
21	" 17. 7	" 20. 3	大山 俊建	"	49	" 25. 4	" 26. 3	坂本 義広	"
22	" 20. 4	" 22. 4	日高 重孝	専任	50	" 26. 4	" 27. 3	内栢保博秋	"
23	" 22. 5	" 32. 9	中村 地平	"	51	" 27. 4	" 29. 3	福田 裕幸	"
24	" 32.10	" 46. 3	日高 一	"	52	" 29. 4	" 31. 3	金子 洋士	"
25	" 46. 4	" 46. 8	穂積 正晴	教育次長兼	53	" 31. 4	令和 3. 3	中原 光晴	"
26	" 46. 8	" 47. 3	竹内 敬郎	"	54	令和 3. 4	令和 4. 3	岩本 真一	"
27	" 47. 4	" 48. 3	杉田 利治	専任	55	" 4. 4		小川 雅彦	"
28	昭和 48. 4	昭和 51. 3	藪田 穂	"					

## 2 県立図書館条例・規則

### (1) 県立図書館条例

(昭和25年12月26日 条例第49号)  
(最終改正 平成24年 3月 条例第30号)

(設置)

**第1条** 図書館法(昭和25年法律第118号。以下「法」という。)第10条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

2 図書館の位置は、宮崎市船塚3丁目210番地1とする。

(県立図書館協議会)

**第2条** 図書館に法第14条の規定に基づく県立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、県教育委員会が任命し、又は委嘱する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 協議会の会議は、図書館長が招集する。

(委任)

**第3条** この条例の施行に関し必要な事項は、県教育委員会が定める。

#### 附 則

この条例は、公布の日から施行し、昭和25年7月30日から適用する。但し、第2条から第7条までの規定は、昭和26年4月1日から施行する。

附 則 (昭和31年4月13日条例第21号抄)

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和39年4月1日条例第36号抄)

1 この条例は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則 (昭和41年7月30日条例第26号)

この条例は、昭和41年8月1日から施行する。

附 則 (昭和62年12月18日条例第29号)

この条例は、昭和63年2月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月29日条例第30号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

### (2) 県立図書館管理規則

(昭和63年4月1日 教育委員会規則第3号)  
(最終改正 令和2年3月 教育委員会規則第5号)

#### 第1章 総則

(趣旨)

**第1条** この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第33条第1項及び県立図書館条例(昭和25年宮崎県条例第49号)第6条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

**第2条** この規則において「図書館資料」とは、図書館法(昭和25年法律第118号)第3条第1号に規定する図書館資料をいう。

#### 第2章 組織及び職制

##### 第1節 組織

(課の設置)

**第3条** 図書館に、次の課を置く。

総務・企画課

情報提供課



(総務・企画課)

第4条 総務・企画課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 図書館の事業の総合企画及び総合調整に関すること。
- (2) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (3) 予算の執行及び決算に関すること。
- (4) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- (5) 公印の管守に関すること。
- (6) 施設及び設備の維持管理に関すること。
- (7) 図書館情報システムの運営管理に関すること。
- (8) 図書館資料の収集、整理及び保管に関すること。
- (9) 図書館資料の寄贈及び寄託に関すること。
- (10) 県立図書館協議会に関すること。
- (11) 館の事務で情報提供課の主管に属さないこと。

(情報提供課)

第5条 情報提供課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 読書活動の普及及び読書団体の育成に関すること。
- (2) 市町村の図書館活動に対する援助及び協力に関すること。
- (3) 視聴覚ライブラリーに関すること。
- (4) 郷土に関する資料の調査及び研究に関すること。
- (5) 図書館資料の利用に関すること。
- (6) 参考調査相談及び情報の提供に関すること。
- (7) 学習の機会の提供及び研修会等の実施に関すること。

第6条及び第7条 削除

## 第2節 職制

(職及び職務)

第8条 図書館に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
館長	館	館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副館長	副館	館長を補佐し、館長に事故があるとき、又は館長が欠けたときは、その職務を代行する。
課長	課	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
主任社会教育主事	主任社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する相当高度の専門的・技術的指導業務に従事する。
社会教育主事	社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する専門的・技術的指導業務に従事する。
専門主事	専門主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
専門技師	専門技師	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする技術に従事する。
主任主事	主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主任技師	主任技師	上司の命を受けて、複雑な技術に従事する。
主事	主事	上司の命を受けて、事務に従事する。
技師	技師	上司の命を受けて、技術に従事する。

2 前項に規定する職のほか、図書館に、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
主幹	主幹	上司の命を受けて、図書館の特定の事務を掌理する。
専門主幹	専門主幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする図書館の特定の事務を掌理する。
副主幹	副主幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は図書館の特定の事務を掌理する。
主査	主査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

(その他の職)

第9条 前条に規定する職のほか、必要に応じ、会計年度任用職員を置く。

2 会計年度任用職員は、上司の命を受けて、事務又は技術に従事する。

### 第3章 図書館奉仕

#### 第1節 通則

(開館時間)

第10条 図書館の開館時間は、次のとおりとする。

(1) 閲覧室及び対面朗読室

午前9時から午後7時まで

(2) 児童図書室、特別展示室、視聴覚ライブラリー、研修ホール、研修室及び視聴覚室

午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、館長は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

(休館日)

第11条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）にあたるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

(2) 12月29日から翌年の1月4日まで（前号に掲げる日を除く。）

(3) 特別整理期間（あらかじめ、館長が定めて公示する期間）

2 前項の規定にかかわらず、館長は、特に必要があると認めるときは、臨時に前項の休館日に開館し、又は開館日に休館することができる。この場合においては、その都度公示するものとする。

(入館の制限等)

第12条 館長は、図書館を利用しようとする者が次の各号の一に該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(2) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(3) 条例若しくはこの規則又は館長の指示に従わないとき。

(4) 前3号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(損害賠償)

第13条 故意又は過失によって図書館資料等を亡失し、又は損傷した者は、その損害を賠償しなければならない。

#### 第2節 図書館資料の館内利用

(図書館資料の館内利用)

第14条 図書館資料は、館内の所定の場所において利用することができる。

(図書館資料の複写)

第15条 図書館資料の複写は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、利用者の調査研究の用に供するために、図書館が所有する図書館資料を用いて、公表された著作物の一部分について行うものとする。

(図書館資料の複写の申込み)

第16条 図書館資料の複写を依頼しようとする者は、図書館資料複写申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

(図書館資料の複写に要する費用等)

第16条の2 前条の規定により、図書館資料の複写を依頼しようとする者は、当該図書館資料の複写に要する費用を負担しなければならない。

2 前項の図書館資料の複写に要する費用は、次の表に定める額とし、同費用は前納しなければならない。

区 分	単 位	金 額
電子複写（単色のもの）	複写1面につき	10円
電子複写（カラーのもの）	複写1面につき	50円
マイクロフィルム複写	1枚につき	50円

(図書館資料の複写の制限)

**第17条** 次の各号に掲げる図書館資料は、複写することができない。

- (1) 寄託資料でその寄託契約の条件として複写が禁止されているもの
- (2) 技術的に複写が困難な図書館資料
- (3) 複写することによって損傷するおそれのある図書館資料
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が複写することを不相当と認めた図書館資料  
(複写物の利用上の責任)

**第18条** 複写物の利用による著作権法上の責任は、当該複写物の提供を受けた者が負うものとする。  
(参考調査相談)

**第19条** 図書館資料に係る参考調査相談(以下「参考調査相談」という。)をしようとする者は、口頭、電話、文書その他の方法により、申し込むことができる。

2 参考調査相談に対する回答は、主として図書館資料その他の資料を提供して行うものとする。  
(回答を行わない事項)

**第20条** 古文書、美術品等の鑑定、法律相談、医療相談、学習課題の解答その他回答することが不相当と認められる事項に係る参考調査相談に対しては、回答を行わないものとする。

### 第3節 図書館資料等の館外利用

(図書館資料の館外利用)

**第21条** 図書館資料を館外において利用しようとする者は、館長が別に定めるところにより、宮崎県立図書館貸出利用券(以下「貸出利用券」という。)の交付を受けなければならない。

**第22条** 図書館資料を館外において利用しようとする者は、貸出利用券を係員に提示し、その手続をしなければならない。

2 館外において利用することのできる図書館資料の数は、利用者1人につき、未返却図書館資料の数を含め10点以内(うち、児童図書室の図書館資料は、未返却図書館資料の数を含め5点以内)とする。

3 図書館資料の館外利用の期間は、2週間以内とする。  
(団体文庫及び巡回文庫)

**第23条** 図書館に、読書団体が館外において利用する文庫として団体文庫を設け、市町村の機関が館外において利用する文庫として巡回文庫を設ける。

2 前項の利用に関しては、館長が別に定める。  
(視聴覚機器の館外利用)

**第24条** 視聴覚機器を館外において利用することのできる者は、社会教育及び生涯学習に関連のある研修等を行う団体(以下「社会教育等団体」という。)とする。

2 第21条及び第22条第1項の規定は、社会教育等団体が視聴覚機器を館外において利用しようとする場合について準用する。

(図書館資料の館外利用の制限)

**第25条** 次の各号に掲げる図書館資料は、館外利用をすることができない。

- (1) 貴重図書、古文書、新聞類及び保存用雑誌類並びにマイクロ資料
- (2) 参考図書及び郷土資料のうち館長が指定したもの
- (3) 寄託資料又は貸与資料で寄託者又は貸与者が館外利用を承認しないもの
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が館外利用を不相当と認めた図書館資料  
(図書館資料等の館外利用の停止等)

**第26条** 館長は、次の各号の一に該当するときは、図書館資料又は視聴覚機器(以下「図書館資料等」という。)の館外利用を一定期間停止し、又は貸出利用券を無効として再交付しないことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により貸出利用券の交付を受けたとき。
- (2) 貸出利用券を他人に譲渡し、又は貸与したときその他不正に使用したとき。
- (3) 利用した図書館資料等を期限内に返還しないとき。

(貸出利用券の紛失又は破損)

**第27条** 貸出利用券の交付を受けた者は、当該貸出利用券を紛失し、又は破損したときは、直ちにその旨を館長に届け出て、所定の手続に従い、再交付を受けなければならない。

(図書館資料等の亡失又は損傷)

**第28条** 図書館資料等を館外において利用しようとする者は、当該図書館資料等を亡失し、又は損傷したときは、直ちにその旨を館長に届け出なければならない。

(図書館資料等の特別貸出し)

**第29条** 第21条、第22条、第24条及び第25条の規定にかかわらず、館長は、次の各号の一に該当する者に対し、図書館資料等の特別貸出しをすることができる。

- (1) 公用の研究又は調査のため必要があると認められる者
- (2) 学術に関する研究又は調査のため必要があると認められる者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、館長が適当と認める者

2 図書館資料等の特別貸出しに関し必要な事項は、館長が別に定める。

#### 第4節 研修ホール等の利用

(研修ホール等の利用)

**第30条** 研修ホール、研修室及び視聴覚室（以下「研修ホール等」という。）を利用することができる者は、社会教育等団体とする。

**第31条** 研修ホール等を利用しようとする者（以下「研修ホール等の利用者」という。）は、研修ホール等利用申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の許可は、研修ホール等利用申込書を交付して行う。

3 館長は、次の各号の一に該当するときは、研修ホール等の利用を許可しないものとする。

- (1) 研修ホール等利用申込書の内容に偽りがあるとき。
- (2) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (3) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (4) もっぱら営利を目的とし、又はそのおそれがあると認められるとき。
- (5) 設置目的に反する利用をするおそれがあると認められるとき。
- (6) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同条第6号に規定する暴力団員若しくはこれら暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者の利益になると認められるとき。
- (7) 前各号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(研修ホール等の利用の許可の取消し等)

**第32条** 館長は、研修ホール等の利用者が前条第3項各号の一に該当するに至ったときは、その利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

2 前項の規定による取消し等によって研修ホール等の利用者に損害が生じても、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

#### 第5節 図書館資料の寄贈及び寄託

(図書館資料の寄贈及び寄託)

**第33条** 図書館は、図書館資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 図書館資料の寄託に要する費用は、原則として寄託者の負担とする。

3 図書館資料の寄贈及び寄託の手続については、館長が別に定める。

(寄託資料の取扱い)

**第34条** 寄託資料の管理については、図書館の所有する図書館資料に準じて行う。ただし、寄託者の承認がある場合を除き、館外において利用できないものとする。

(寄託資料の賠償責任)

**第35条** 寄託資料が天災その他不可抗力により滅失し、又は損傷したときは、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

#### 第4章 雑則

(委任)

**第36条** この規則に定めるもののほか、図書館の管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

##### 附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(県立図書館規則等の廃止)

2 次に掲げる規則は、廃止する。

(1) 県立図書館規則（昭和26年宮崎県教育委員会規則第1号）

(2) 県立図書館附設設備利用規則（昭和40年宮崎県教育委員会規則第5号）

- 附 則** (平成2年4月17日教育委員会規則第8号)  
この規則は、公布の日から施行する。
- 附 則** (平成4年8月25日教育委員会規則第8号)  
この規則は、平成4年9月1日から施行する。
- 附 則** (平成7年3月31日教育委員会規則第10号)  
この規則は、平成7年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成8年3月29日教育委員会規則第4号)  
この規則は、平成8年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成9年5月22日教育委員会規則第5号)  
この規則は、平成9年6月1日から施行する。
- 附 則** (平成13年3月30日教育委員会規則第9号)  
この規則は、平成13年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成16年3月29日教育委員会規則第8号)  
この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成18年3月30日教育委員会規則第12号)  
この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成19年3月30日教育委員会規則第3号)  
この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成20年3月31日教育委員会規則第6号)  
この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成23年2月21日教育委員会規則第1号)  
この規則は、平成23年3月1日から施行する。
- 附 則** (平成23年7月21日教育委員会規則第4号)  
この規則は、平成23年8月1日から施行する。
- 附 則** (平成27年3月31日教育委員会規則第10号)  
この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成30年3月29日教育委員会規則第11号)  
この規則は、平成30年4月1日から施行する。
- 附 則** (令和2年3月30日教育委員会規則第5号)  
この規則は、公布の日から施行する。

### (3) 県立図書館協議会運営規則

(昭和26年2月16日 教育委員会規則第3号)

- 第1条** 県立図書館協議会(以下「協議会」という。)に議長及び副議長各1人を置く。
- 2 議長及び副議長は、協議会委員(以下「委員」という。)の互選とし、その任期は委員の任期による。
- 3 議長は、委員の会議を主宰する。
- 4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、その職務を行う。
- 第2条** 図書館長は、協議会開催の日時、場所及び議題を、あらかじめ委員に通知しなければならない。
- 2 協議会招集の通知後に、緊急の議題が提案されたときは、直ちに、これを付議することができる。
- 第3条** 協議会の議事は、出席委員の過半数で決する。
- 第4条** この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。
- 附 則**  
この規則は、昭和26年4月1日から施行する。

### 3 施設概況

#### (1) 構造

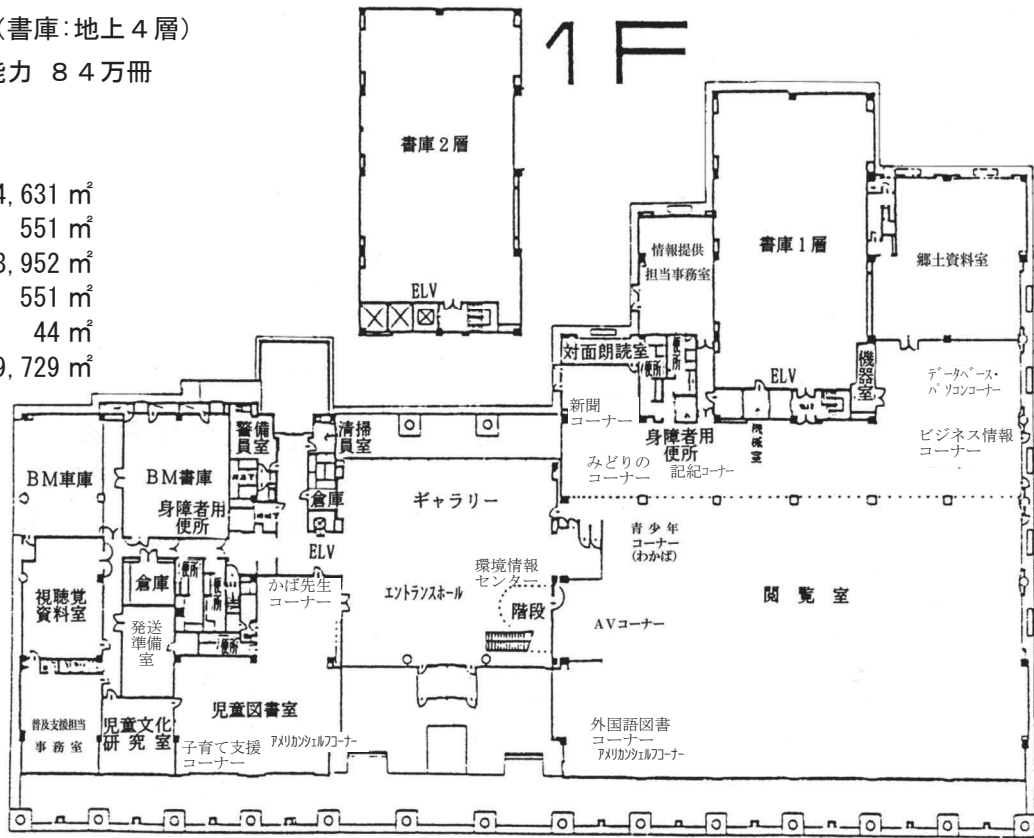
鉄筋鉄骨コンクリート造

地上2階（書庫：地上4層）

図書収蔵能力 84万冊

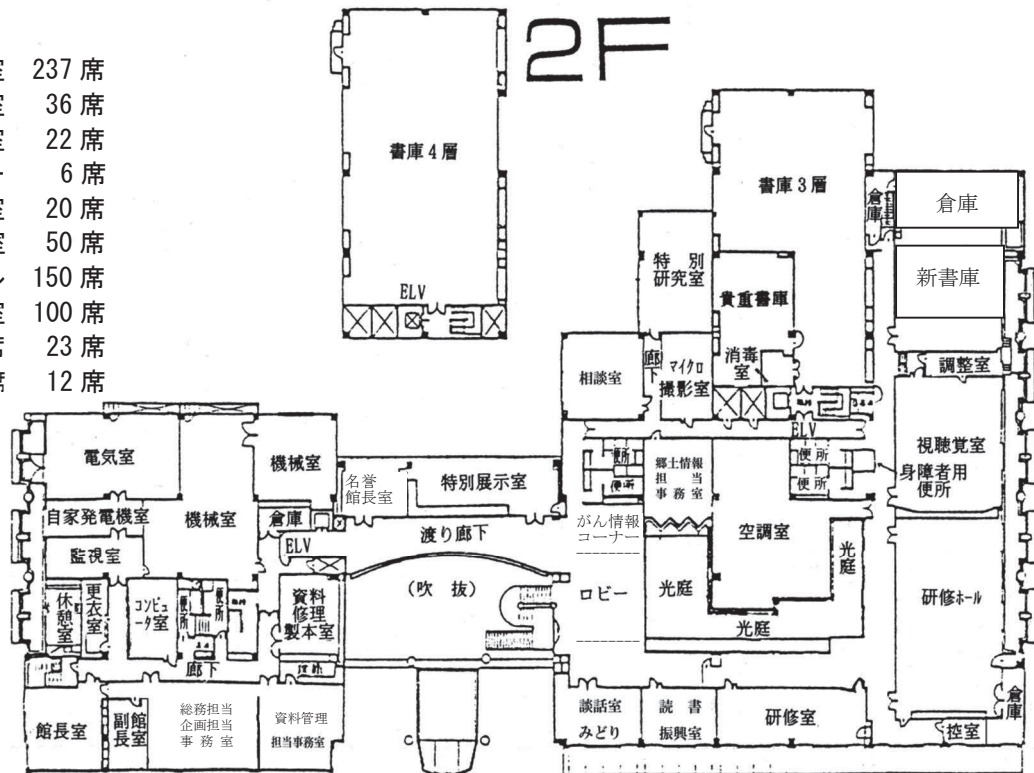
#### (2) 床面積

1階	4,631 m <sup>2</sup>
	551 m <sup>2</sup>
2階	3,952 m <sup>2</sup>
	551 m <sup>2</sup>
屋階	44 m <sup>2</sup>
合計	9,729 m <sup>2</sup>



#### (3) 座席数

一般閲覧室	237席
郷土資料室	36席
児童図書室	22席
AVコーナー	6席
読書振興室	20席
研修室	50席
研修ホール	150席
視聴覚室	100席
パソコン席	23席
新聞コーナー	12席



## 4 利用案内

### (1) 開館・休館

#### ① 開館時間

一般閲覧室 午前9時～午後7時

児童図書室 午前9時～午後5時

#### ② 休館日

月曜日（月曜日が休日の場合はその日以後で最も近い平日）

年末年始（12月29日～1月4日）

特別整理期間（令和5年1月30日～令和5年2月9日）

### (2) 貸出

冊数 一人10冊まで（ただし、児童図書室の本は5冊まで）

期間 14日以内

### (3) 電話

0985-29-2911	全般的な問合せ	総務・企画課総務担当
0985-29-2911	各種図書館事業の企画・広報	総務・企画課企画担当
0985-29-2970	資料の寄贈	総務・企画課資料管理担当
0985-29-2956	やまびこ文庫、団体文庫、視聴覚事業	情報提供課普及支援担当
0985-29-2954	郷土情報に関する問合せ	情報提供課郷土情報担当
0985-29-2596	図書の貸出・返却	情報提供課情報提供担当
0985-29-2972	資料に関する問合せ	情報提供課情報提供担当

### (4) ファクシミリ

0985-29-2491（総務担当・企画担当）

0985-29-2961（普及支援担当）

0985-22-9070（情報提供担当）

### (5) 電子メール

toshokan@pref.miyazaki.lg.jp（代表）

soudan@lib.pref.miyazaki.lg.jp（レファレンス）

### (6) ホームページ（当館の図書の検索、行事案内情報等の閲覧ができます）

<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>

※フェイスブックページ <https://www.facebook.com/miyazaki.prefectural.library/>

## 5 市町村立図書館一覧

館名	館長名	所在地	創設年月
宮崎市立図書館	横山 通夫	〒880-0930 宮崎市花山手東3丁目25番地3 TEL 0985-52-7100 FAX 0985-52-7158	平 6. 5
宮崎市立佐土原図書館	佐伯 公博	〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島20527番地4 TEL 0985-30-1037 FAX 0985-72-2066	平16. 4
都城市立図書館	井上 康志	〒885-0071 都城市中町16街区15号 TEL 0986-22-0239 FAX 0986-22-0251	昭23. 4
都城市立高城図書館(分館)	井上 康志	〒885-1202 都城市高城町穂満坊105番地 TEL 0986-58-4224 FAX 0986-58-4245	平21. 4
延岡市立図書館	工藤 靖治	〒882-0812 延岡市本小路39番地1 TEL 0982-32-3058 FAX 0982-22-0644	昭22.4
延岡市立図書館北方分館	吉田 等 (兼)北方分室長	〒882-0125 延岡市北方町川水流卯1236番地2 TEL 0982-28-5200 FAX 0982-28-5201	平13. 4
延岡市立図書館北浦分館	吉岡 秀晃 (兼)北浦分室長	〒889-0301 延岡市北浦町古江1943番地1 TEL 0982-45-2466 FAX 0982-45-2466	平24. 3
延岡市立図書館北川分館	井本 治久 (兼)北川分室長	〒889-0192 延岡市北川町川内名7250番地 TEL 0982-46-2047 FAX 0982-46-2065	平25. 4
日南市立図書館	長本 公介 (兼)生涯学習課長	〒889-2535 日南市飢肥2丁目6番18号 TEL 0987-25-0158 FAX 0987-25-1200	昭25. 1
日南市立まなびピア図書館	長本 公介 同上	〒887-0013 日南市木山2丁目4番44号 日南市生涯学習センターまなびピア内 TEL 0987-22-5666 FAX -----	平14. 3
日南市立北郷図書館	長本 公介 同上	〒889-2402 日南市北郷町郷之原乙1570番地 TEL 0987-55-2469 FAX 0987-55-2469	平元. 8
日南市立南郷図書館	長本 公介 同上	〒889-3204 日南市南郷町中村乙7051番地25 南郷ハートフルセンター内 TEL 0987-64-0924 FAX -----	平 7.12
小林市立図書館	山下 町子	〒886-0004 小林市細野367番地1 TEL 0984-22-7913 FAX 0984-22-4333	明41. 6
小林市立図書館野尻分館	山下 町子	〒886-0212 小林市野尻町東麓1183番地2 TEL 0984-44-1100 FAX -----	平22. 3
小林市立図書館須木分館	山下 町子	〒886-0111 小林市須木中原1741番地1 TEL 0984-48-2954 FAX -----	平22. 3
日向市立図書館	星野 真由美	〒883-0035 日向市春原町1丁目47番地 TEL 0982-54-1919 FAX 0982-54-5444	昭24. 4



館名	館長名	所在地	創設年月
串間市立図書館	黒木 さやか	〒888-0001 串間市大字西方6524番地58 TEL 0987-72-1177 FAX 0987-72-0803	昭51.4
西都市立図書館	椎原 昌司 (兼)社会教育課長	〒881-0003 西都市大字右松2606番地1 TEL 0983-43-0584 FAX 0983-41-1113	昭49.12
えびの市民図書館	北方 俊二	〒889-4311 えびの市大字大明司2146番地2 TEL 0984-35-0242 FAX 0984-35-3040	昭50.7
三股町立図書館	米丸 麻貴生 (兼)教育長	〒889-1901 北諸県郡三股町大字樺山3406番地8 TEL 0986-51-3200 FAX 0986-51-3751	平13.4
国富町立図書館	佐藤 利明 (兼)社会教育課長	〒880-1101 東諸県郡国富町大字本庄4768番地2 TEL 0985-75-9577 FAX 0985-75-9558	平17.4
綾てるは図書館	中村 清久	〒880-1302 東諸県郡綾町大字北俣462番地2 TEL 0985-77-0180 FAX 0985-77-0585	平17.4
町立高鍋図書館	岩佐 康司 (兼)社会教育課長	〒884-0003 児湯郡高鍋町大字南高鍋551番地 TEL 0983-21-1152 FAX 0983-21-1153	昭30.3
新富町図書館	倉永 浩幸 (兼)生涯学習課長	〒889-1403 児湯郡新富町大字上富田6345番地5 新富町総合交流センター「きらり」内 TEL 0983-32-7878 FAX 0983-33-5928	平28.4
川南町立図書館	赤木 美穂	〒889-1302 児湯郡川南町大字平田2386番地3 TEL 0983-27-7111 FAX 0983-27-7100	平11.4
都農町民図書館	岩本 繁 (兼)社会教育課長	〒889-1201 児湯郡都農町大字川北5448番地2 TEL 0983-25-3316 FAX 0983-25-2683	昭50.12
門川町立図書館	椿原 悟 (兼)教育課長	〒889-0611 東臼杵郡門川町大字門川尾末1611番地1 TEL 0982-68-0001 FAX 0982-68-0024	平14.3
美郷町立西郷図書館	大坪 隆昭 (兼)教育長	〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代1870番地 TEL 0982-62-6204 FAX 0982-66-2131	平11.4
美郷町立北郷図書館	大坪 隆昭 同上	〒889-0901 東臼杵郡美郷町北郷宇納間401番地 TEL 0982-62-6205 FAX 0982-62-6193	平15.5
美郷町立南郷図書館	大坪 隆昭 同上	〒883-0306 東臼杵郡美郷町南郷神門287番地 TEL 0982-59-1605 FAX 0982-59-1119	平24.4
椎葉村図書館「ぶん文Bun」	黒木 保隆 (村長)	〒883-1601 東臼杵郡椎葉村大字下福良1829番地57 TEL 0982-67-2177 FAX -----	令2.7
高千穂町立図書館	戸敷 二郎 (兼)教育長	〒882-1101 西臼杵郡高千穂町大字三田井723番地1 TEL 0982-72-7219 FAX 0982-72-5515	昭49.7
日之影町立図書館	橋本 範憲 (兼)教育長	〒882-0401 西臼杵郡日之影町大字七折9079番地 TEL 0982-87-3809 FAX 0982-87-3816	令3.5

※令和4年4月1日現在。



# 宮崎県立図書館

どこでも・ささえる・つながる図書館

## 所在地

〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1 宮崎県総合文化公園内

## 電話

### 総務・企画課

総務担当 0985-29-2911

企画担当 0985-29-2911

資料管理担当 0985-29-2970

### 情報提供課

普及支援担当 0985-29-2956

郷土情報担当 0985-29-2954

情報提供担当 0985-29-2596

レファレンス用 0985-29-2972

## ファクシミリ

### 総務・企画課

総務担当 0985-29-2491

企画担当 0985-29-2491

普及支援担当 0985-29-2961

### 情報提供課

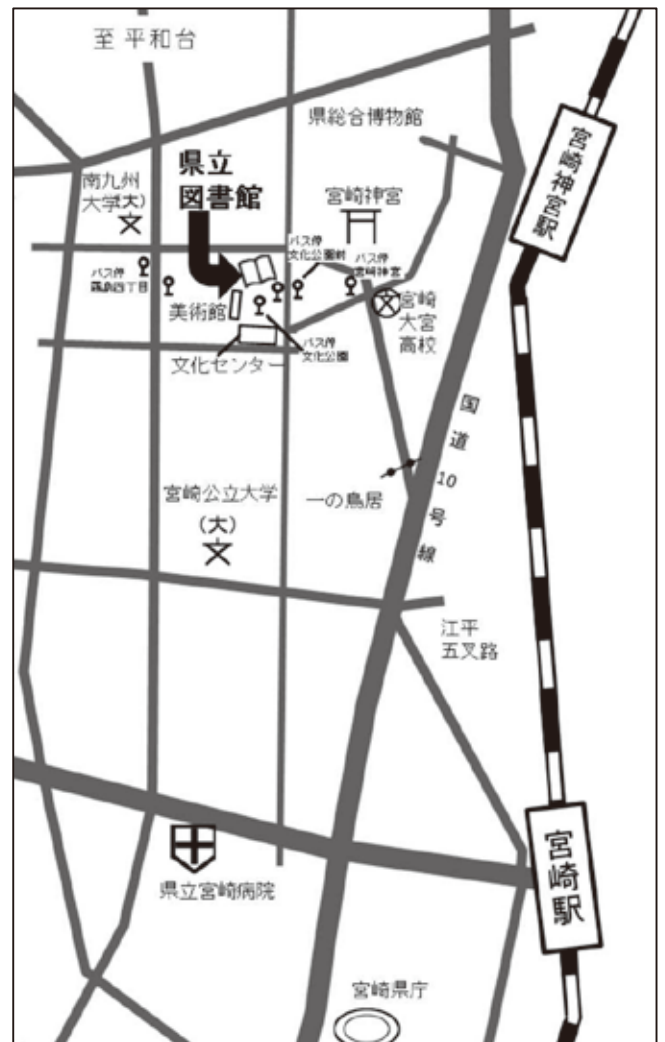
情報提供担当 0985-22-9070

## 電子メール

toshokan@pref.miyazaki.lg.jp (代表)

## ホームページアドレス

<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>



令和4年度 宮崎県立図書館要覧

発行年月 令和4年7月

発行人 宮崎県立図書館